

### Ⅲ. 国内外からの人の来訪を促進するために必要な機能やニーズの調査・検討

### III. 国内外からの人の来訪を促進するために必要な機能の調査・検討

- ・ 2019 年まで順調に増加していた訪日観光客数は、新型コロナウイルスの影響により、激減した。
- ・ 現在はコロナがある程度収束に向かいつつあり、徐々に観光客数も回復しているものの、水際対策や受入態勢を考えると、一気に数千人規模の訪日客を受け入れることは現実的ではなく、今後は量から質への転換が必要となってくると思われる。
- ・ そのため、比較的消費単価の高いビジネス旅行者と、海外富裕層に着目して、その特性を把握するとともに、旅行訪問先として選ばれるために具備すべき要件を整理するため、国内外の先進的な事例を踏まえ、愛知県が今後講じていくべき取組の方向性について検討を行った。

#### 1 ビジネス来訪者の取り込みに向けた検討

- ・ 世界経済フォーラム (World Economic Forum) が発表した「旅行・観光開発ランキング (Travel & Tourism Development Index)」(2021 年版) において、総合評価で日本は初めて世界 1 位となった。
- ・ 各指標をみると、「旅行・観光の需要喚起」において、「非レジャー資源」いわゆるビジネス旅行の順位が高く、日本のビジネス旅行への注目度は高まりを見せている。

図表 旅行・観光開発ランキング

| 日本の総合順位・スコア  |                  | 1位 (2位) | 5.2 (5.2) |
|--------------|------------------|---------|-----------|
| カテゴリー        | 項目               | 順位      | スコア       |
| 環境整備         | ビジネス環境           | 15 (11) | 5.0       |
|              | 安全・安心            | 15 (17) | 6.1       |
|              | 健康・衛生            | 9 (6)   | 6.1       |
|              | 人材と労働市場          | 31 (22) | 4.8       |
|              | ICTの準備           | 29 (23) | 5.8       |
| 旅行・観光政策と実現条件 | 旅行・観光の優先順位       | 42 (57) | 4.3       |
|              | 国境開放度            | 39 (39) | 4.7       |
|              | 価格競争力            | 96 (98) | 4.2       |
| インフラ         | 航空輸送             | 4 (13)  | 5.6       |
|              | 陸上・港湾            | 6 (5)   | 6.3       |
|              | 観光サービス           | 28 (33) | 4.5       |
| 旅行・観光の需要喚起   | 自然資源             | 12 (18) | 4.9       |
|              | 文化資源             | 4 (2)   | 6.4       |
|              | 非レジャー資源          | 3 (2)   | 6.2       |
| 旅行と観光の持続可能性  | 環境の持続可能性         | 38 (32) | 4.3       |
|              | 社会経済の回復力と条件      | 11 (17) | 5.7       |
|              | 旅行・観光需要に対する圧力と影響 | 41 (43) | 4.3       |

\*上記の表のスコアは1～7の7段階評価（7が最もよい）であり、世界平均は4.0である。表内の（ ）は2019年度の値で、2022年度との順位の比較をしたもの。日本は2019年の総合ランキングは4位であったが、2021年度の新しい基準では2位であり、上表では新基準による順位を掲載している。

(原典) World Economic Forum, Travel&TourismDevelopmentIndex2021

[https://www3.weforum.org/docs/WEF\\_Travel\\_Tourism\\_Development\\_2021.pdf](https://www3.weforum.org/docs/WEF_Travel_Tourism_Development_2021.pdf)

(出典) やまごころウェブサイト

[https://yamatogokoro.jp/inbound\\_data/46457/](https://yamatogokoro.jp/inbound_data/46457/)

- ・また、観光庁の「共通基準による観光入込客統計」によると、愛知県は比較的ビジネス来訪者が多い傾向にある。
- ・愛知県の入込客数、消費単価、消費額を観光目的とビジネス目的で比較すると、入込客数（宿泊）はビジネス目的が62.3%、観光目的が38%であり、消費額はビジネス目的が73.7%、観光目的が26%であり、いずれもビジネス目的が観光目的を上回る。
- ・都道府県別の比較においても、愛知県のビジネス目的の割合の高さは顕著であり、入込客数（宿泊）は、広島県の69%に次ぐ2位、消費額については全国1位を示している。

図表 目的別の入込客数・消費額（都道府県別）（2017年）

|      | 観光入込客数（宿泊） |        | 観光消費額 |        |
|------|------------|--------|-------|--------|
|      | 観光目的       | ビジネス目的 | 観光目的  | ビジネス目的 |
| 北海道  | 96%        | 4%     | 98%   | 2%     |
| 青森県  | 62%        | 38%    | 48%   | 52%    |
| 岩手県  | 78%        | 22%    | 71%   | 29%    |
| 宮城県  | 61%        | 39%    | 47%   | 53%    |
| 秋田県  | 65%        | 35%    | 56%   | 44%    |
| 山形県  | 73%        | 27%    | 64%   | 36%    |
| 福島県  | 58%        | 42%    | 49%   | 51%    |
| 茨城県  | 38%        | 61.5%  | 36%   | 64%    |
| 栃木県  | 67%        | 33%    | 50%   | 50%    |
| 群馬県  | 87%        | 13%    | 85%   | 15%    |
| 埼玉県  | 61%        | 39%    | 59%   | 41%    |
| 千葉県  | 59%        | 41%    | 46%   | 54%    |
| 東京都  | 45%        | 55%    | 41%   | 59%    |
| 神奈川県 | 80%        | 20%    | 62%   | 38%    |
| 新潟県  | 71%        | 29%    | 60%   | 40%    |
| 富山県  | 48%        | 52%    | 28%   | 72%    |
| 石川県  | —          | —      | —     | —      |
| 福井県  | 61%        | 39%    | 45%   | 55%    |
| 山梨県  | 94%        | 6%     | 59%   | 41%    |
| 長野県  | 74%        | 26%    | 64%   | 36%    |
| 岐阜県  | 84%        | 16%    | 59%   | 41%    |
| 静岡県  | —          | —      | —     | —      |
| 愛知県  | 38%        | 62.3%  | 26%   | 73.7%  |
| 三重県  | 60%        | 40%    | 43%   | 57%    |
| 滋賀県  | 73%        | 27%    | 69%   | 31%    |
| 京都府  | 72%        | 28%    | 70%   | 30%    |
| 大阪府  | —          | —      | —     | —      |
| 兵庫県  | —          | —      | —     | —      |
| 奈良県  | 84%        | 16%    | 47%   | 53%    |
| 和歌山県 | 70%        | 30%    | 37%   | 63%    |
| 鳥取県  | 62%        | 38%    | 52%   | 48%    |
| 島根県  | 63%        | 37%    | 53%   | 47%    |
| 岡山県  | 49%        | 51%    | 39%   | 61%    |
| 広島県  | 31%        | 69%    | 29%   | 71%    |
| 山口県  | 69%        | 31%    | 56%   | 44%    |
| 徳島県  | 63%        | 37%    | 53%   | 47%    |
| 香川県  | 61%        | 39%    | 52%   | 48%    |
| 愛媛県  | 57%        | 43%    | 47%   | 53%    |
| 高知県  | —          | —      | —     | —      |
| 福岡県  | 42%        | 58%    | 43%   | 57%    |
| 佐賀県  | 57%        | 43%    | 67%   | 33%    |
| 長崎県  | 71%        | 29%    | 58%   | 42%    |
| 熊本県  | 69%        | 31%    | 34%   | 66%    |
| 大分県  | 76%        | 24%    | 51%   | 49%    |
| 宮崎県  | 67%        | 33%    | 70%   | 30%    |
| 鹿児島県 | —          | —      | —     | —      |
| 沖縄県  | —          | —      | —     | —      |

\*調査結果は2021年が最新であるが、東京都の計算結果が掲載されている最新の調査結果が2017年であり、比較のために同年次の結果を使用している。

\*表中の「-」は集計中を示す。

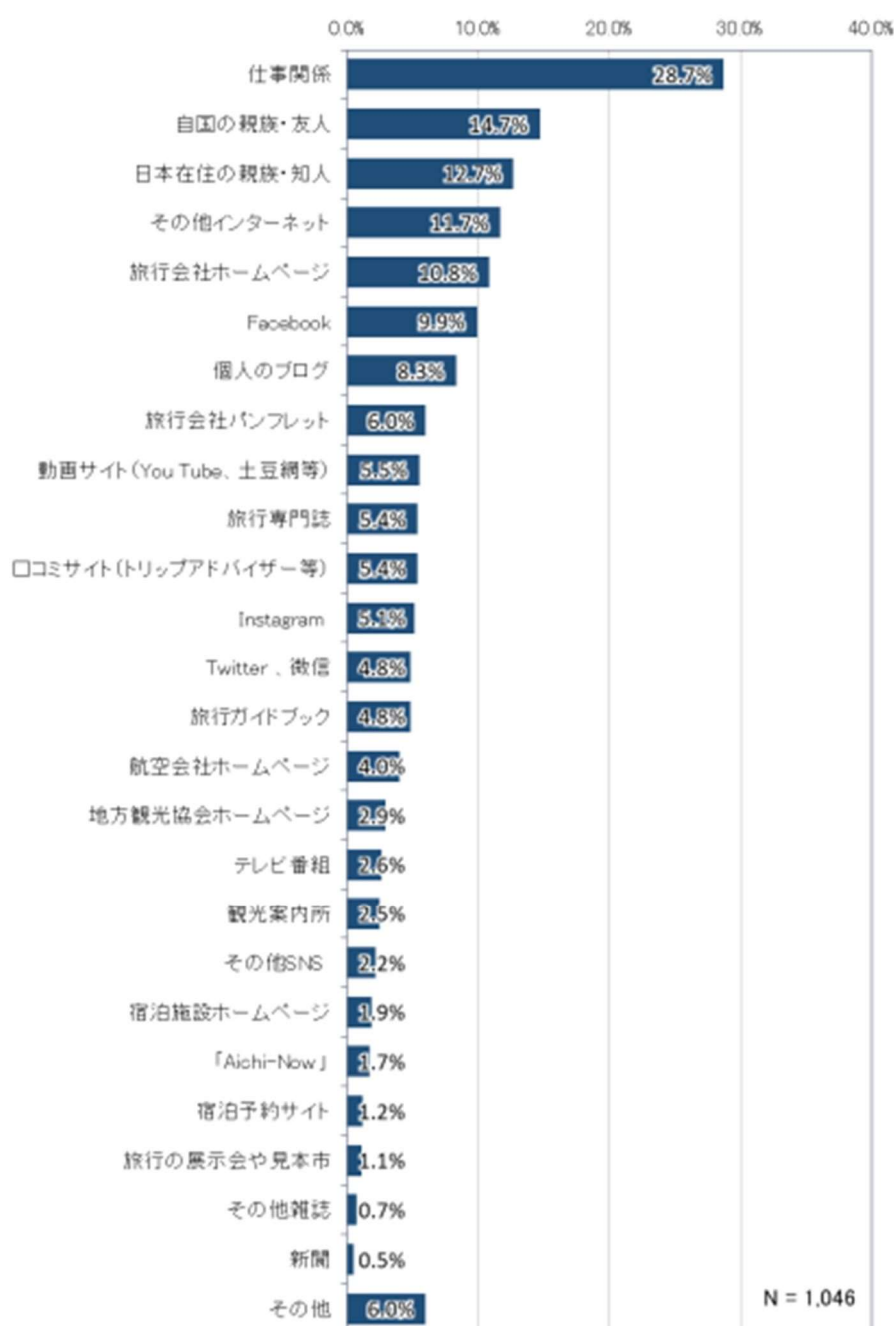
(出典) 共通基準による観光入込客統計 (観光庁)

【年間値：2017年】(集計済：40/46都道府県 ※2020.11.30更新)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/irikomi.html>

また、訪日外国人旅行者に着目すると、愛知県への来訪のきっかけが「仕事」に依存する割合が高いことがわかる。

図表 愛知県への旅行のきっかけ



(出典) 愛知県訪日外客動向調査 (2019 年度)

<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/gaikyaku/2019/2zentai.pdf>

### (1) ビジネス来訪者と観光との関係性

ビジネス目的での来訪者の滞在期間を増やすために、観光的要素を取り込むことは有効な手法である。

とりわけ愛知県は、世界有数のものづくり企業が多数集積しており、ビジネスでの来訪者が多い地域でもあり、この優位性を十分に活用していくことが望まれる。

図表 MICE におけるビジネス、レジャー、レセプションの関係性

|        | Meeting               | Incentive | Convention | Exhibition Event |
|--------|-----------------------|-----------|------------|------------------|
| ビジネス   | 商談<br>テクニカルビジット       | 研修        | 会議・学会      | 展示会              |
| レジャー   | ブレジャー<br>ワーケーション      |           |            |                  |
| レセプション | ホテル・レストラン<br>ユニークベニュー |           |            |                  |

\*MICE の「I」である Incentive は、「インセンティブツアー」のことで、企業の成績優秀者や顧客などを旅行に招待し、表彰あるいは特別な体験を提供する報奨旅行を示す。

また、ビジネス来訪の主要な形態である MICE には、それぞれ商談、研修、会議、展示会といった主目的に付随して、テクニカルビジット、ブレジャー、ワーケーション、ユニークベニューの活用等、観光的な要素が取り込まれるケースが多い。これらの要素を積極的に取り込んで MICE の付加価値を高めていくことにより、ビジネス来訪者数及びその滞在期間の増加につなげることができると考えられる。

**図表 ビジネス来訪に関連する観光的要素**

|                  |   |
|------------------|---|
| <p>テクニカルビジット</p> | <p>先進的な技術や、それを有した企業・工場を訪問・見学する産業視察を指す。企業経営者との対話なども含まれる。当該企業・工場への訪問以外に、地域の飲食店、商業施設への立ち寄りによる経済効果が期待されている。</p> |
| <p>ブレジャー</p>     | <p>Business(ビジネス)とLeisure(レジャー)を組み合わせた造語で、出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむことを指す。</p>                       |
| <p>ワーケーション</p>   | <p>Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語で、余暇の時間と空間を有しつつ、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をするもの。</p>                               |
| <p>ユニークベニュー</p>  | <p>歴史的建造物、文化施設などの空間を活用し、会議・レセプションを開催するための会場を指す。普段は体感できない特別感や地域特性を演出する事ができ、参加者の満足感を得られる。</p>                 |

## (2) MICE に付随する観光的要素の動向の把握

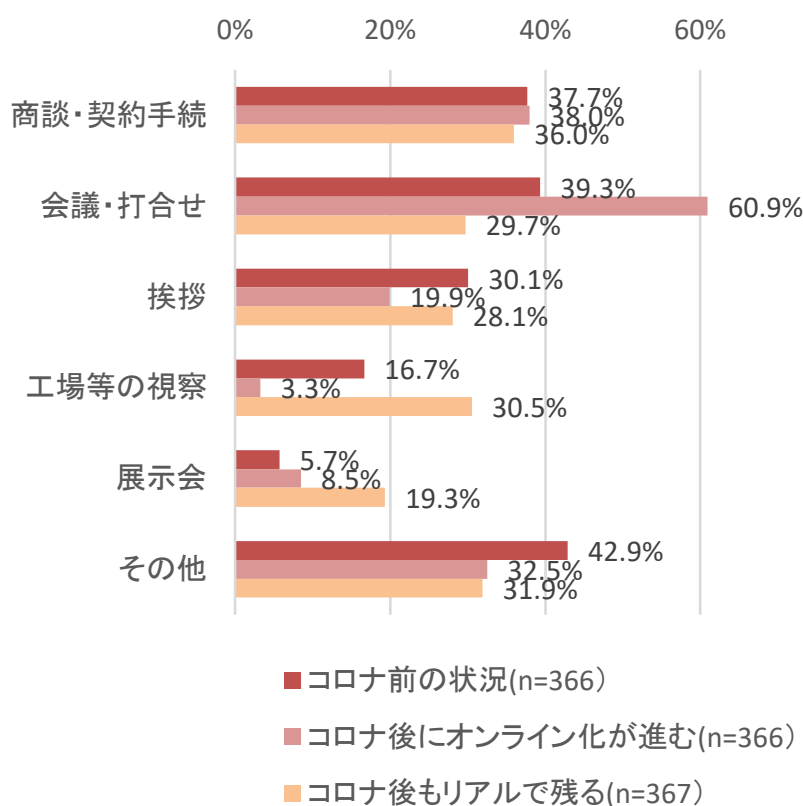
- ・本章では、ビジネス来訪者を愛知県に取込むため、MICE を始めとしたビジネス来訪に付随する観光的要素であるテクニカルビジット、ブレジャー及びワーケーションの動向について調査した。
- ・また、MICE 参加者に特別感を与え、MICE 開催地選定のための一つの要件となり得る「ユニークベニュー」についても整理した。

### 1) テクニカルビジットの動向

#### ① テクニカルビジットの現状

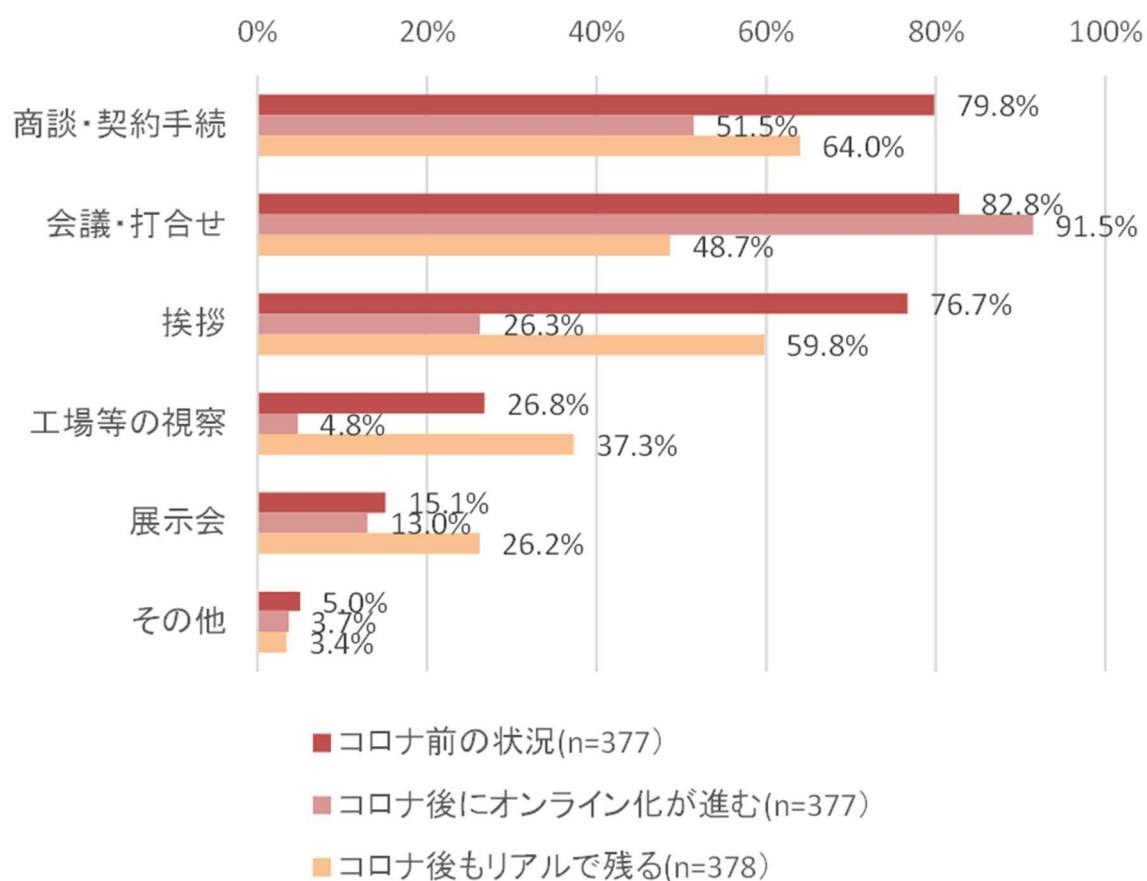
- ・名古屋商工会議所の調査によると、コロナ後の国内・海外からの来客の動向として、「会議・打合せ」はオンライン化が急速に進んでいる。
- ・一方で、「工場等の視察」はコロナ後もリアルで残るため、今後もテクニカルビジットのニーズはあると見込まれ、その環境整備を行っていく必要がある。

図表 海外からの来客の動向





図表 国内の来客の動向



(出典)「ブレジャー (BLEISURE) の手配に関する実態調査」 名古屋商工会議所  
 ブレジャー推進セミナー「アフターコロナを見据えたブレジャーによる地域  
 活性化」資料 (主催：名古屋商工会議所 愛知・名古屋 MICE 推進協議会、  
 2022年2月開催)

## ②愛知県におけるテクニカルビジット受入企業ならびに提供できるコンテンツ

- ・愛知・名古屋 MICE 推進協議会では、国内外から当地域を訪れる MICE 参加者等の企業の視察ニーズに対応するため、この地域ならではのコンテンツとして、テクニカルビジットプロジェクトに取り組んでいる。
- ・このプロジェクトの一環として、県内の視察の受け入れが可能な企業等を取りまとめ、一覧を作成している。

図表 テクニカルビジットに関するウェブサイト①

Technical Visit

### テクニカルビジット<sup>※</sup>は愛知・名古屋へ

愛知・名古屋は、古くからモノづくりの拠点として、陶磁器や織物等の伝統産業から自動車・航空宇宙・ロボット等の先端産業に至るまで、多様な技術が集積する産業の集積地です。

愛知・名古屋 MICE 推進協議会では、国内外から当地域を訪れる MICE 参加者の皆様からの「愛知・名古屋の企業を視察したい」というご要望に応えるため、この地域ならではのコンテンツとして、テクニカルビジットプロジェクトに取り組んでおります。このプロジェクトの一環として、県内の視察の受け入れが可能な企業等を取りまとめ、一覧を作成しました。ぜひ、当地域での MICE 開催のご検討にお役立てください。

※テクニカルビジット：企業を訪問し、その企業の技術や経営理念などについて、工場見学等を通して学ぶ産業視察

▶ [視察受入可能企業一覧](#) 

▶ [愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクト参画企業リーフレット](#) 

申込方法が「名古屋商工会議所 事務局経由」となっている場合は、名古屋商工会議所事務局 (ryutu@nagoya-cci.or.jp) へお問い合わせください。  
それ以外は、記載されている連絡先から直接各企業へお問い合わせください。

**AICHI-NAGOYA**



**“Heart” of JAPAN**  
~Technology & Tradition

・愛知・名古屋 MICE 推進協議会のウェブサイトでは、テクニカルビジット受け入れが可能な企業の見どころを紹介する動画も公開している。

## 図表 テクニカルビジットウェブサイト②

**愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクトPR動画**

こちらのページで紹介している動画では、テクニカルビジットの受け入れが可能な企業等の見どころや、ユニークベニュー及びMICEの受け入れが可能なホテルのアピールポイント等をまとめています。

実際の視察の様子から、視察先の雰囲気や、当地域ならではのテクニカルビジットの魅力をご体感いただける内容となっておりますので、今後のMICE開催時の参考としてお役立てください。

愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクトPR動画 (ダイジェスト版)



【企業・施設ごとの動画は、以下のバナーをクリックをご覧ください】

※外部リンク先（愛知観光コンベンション協会の公式YouTubeチャンネル「Aichi Tourism Bureau」）に移動します。  
※動画内日本語は英語です。

|  |  |   |   |   |
|--|--|---|---|---|
| <br>【株】栄製茶             | <br>アルプススチール(株)                    | <br>NEW<br>豊田新五郎商店    | <br>ほづらいせん時鐘工所 | <br>【株】伊藤精密工具製作所    |
| <br>【株】岩田三堂製作所        | <br>【株】まるや八丁絲織                    | <br>NEW<br>丹野ふとん店    | <br>三河河務所     | <br>NEW<br>スギ製菓(株) |
| <br>NEW<br>【株】テクノプラスト | <br>トヨタ産業技術記念館<br>写真:トヨタ産業技術記念館提供 | <br>NEW<br>瀬清糸洲工業(株) | <br>ユニークベニュー  | <br>NEW<br>ヒルトン名古屋 |

図表 テクニカルビジットに関するウェブサイト③


愛知・名古屋  
テクニカルビジットメニュー開発業務


## 「テクニカルビジット受入先一覧」

愛知県内に本社または事業所のあるテクニカルビジット（産業視察・工場見学・企業訪問等）の受入が可能な企業の一覧です。

申込方法が「名古屋商工会議所 事務局経由」となっている場合は、名古屋商工会議所の事務局（[ryutu@nagoya-cci.or.jp](mailto:ryutu@nagoya-cci.or.jp)）へお問い合わせください。

※視察をコーディネートさせていただく場合、手配料をお見積します。


| 〈注意事項・凡例〉   |  |
|---|--|
|  公式WEBサイトへのリンク | 受入時間 特に記載がない場合、月曜～金曜日の受入   |
| <a href="#">WEBサイト</a> お問い合わせフォーム等へのリンク   | 対応言語 通訳帯同であれば対応言語以外も受入可能   |
| <b>ナンバーワン</b><br>生産量、販売量などの国内外でのシェアナンバーワンである企業  | <b>工作機械</b><br>工作機械関連の製品、技術を扱う企業                                     |
| <b>オンリーワン</b><br>取り扱う製品または保有する技術が他社にない企業。またはカスタムメイドの製品や技術を扱う企業                                  | <b>ロボット</b><br>ロボット関連の製品、技術を扱う企業                                     |
| <b>日本初（業界初）</b><br>取り扱う製品または保有する技術が国内（または業界で）初めての企業   | <b>IoT</b><br>IoT（モノのインターネット）を活用した製品、技術を扱う企業。またはIoTをビジネスの現場に導入している企業 |
| <b>老舗・伝統</b><br>老舗または伝統的製法に基づく製品、技術がある企業  | <b>健康長寿</b><br>健康・美容・長寿関連の製品、技術を扱う企業                                 |
| <b>環境対応</b><br>環境に配慮した製品、技術を有する企業。または二酸化炭素の総排出量の削減など、環境負荷低減活動に取り組んでいる企業                         | <b>海外展開</b><br>海外に関連工場または営業所がある企業。または日本国外に販路を拡大している企業                |
| <b>環境・エネルギー</b><br>再生可能エネルギー関連の製品、技術を扱う企業   | <b>連携希望</b><br>新入技術や製品開発のための連携を希望している企業。または新たなビジネス連携を希望している企業        |
| <b>資源</b><br>資源関連の製品、技術を扱う企業  | <b>ファミリーフレンドリー</b><br>男女ともに仕事と家庭の両立ができる社内制度と職場環境を持つ企業                |
| <b>自動車</b><br>自動車関連の製品、技術を扱う企業  | <b>留学生可</b><br>留学生の受け入れをしている企業                                       |
| <b>EV・PHV・FCV</b><br>EV・PHV・FCV関連の製品、技術を扱う企業  | <b>ダイバーシティ</b><br>ダイバーシティを推進している企業                                   |
| <b>航空宇宙</b><br>航空宇宙関連の製品、技術を扱う企業  | <b>多角化経営</b><br>B to BからB to Cへ転換した企業。または異業種へ進出した企業                  |

**株式会社岩田三宝製作所** 

名古屋市熱田区/ 木材・木製品製造業

老舗・伝統

連携希望



神道の神事において使われる神輿を載せるための台（三宝）を製作。職人による伝統的な尾張仏具のものづくりの技を間近で見られる。

**メニュー：**商品開発・タイアップの相談、工場見学（製造・仕上げ・加工）  
**所要時間：**30～40分 **料金：**要相談  
**受入人数：**2～10人  
**受入時間：**10:00～12:00（10月～2月は受入不可）  
**申込方法：**名古屋商工会議所 事務局経由（1カ月前までに申込）  
**対応言語：**日本語のみ  
**備考：**成人以上。携帯は事務所預かり。飲食禁止。写真撮影不可。  
 ●P/なし

**株式会社志水製作所 本社工場** 

尾張（一宮市）/ 金属製品製造業

自動車

オンリーワン

ファミリーフレンドリー



自動車用の精密金属プレス部品を製造。材料板厚0.04～5.0ミリまでの鉄および非鉄（銅・アルミなど）の加工が可能。

**メニュー：**ビジネス視察、工場見学（製造ライン・検査）、経営者との面談 **オプション：**真鍮・アルミ・銅などを用いたサイコロ折り曲げ成形の体験  
**所要時間：**2時間 **料金：**無料 **受入人数：**5～20人  
**受入時間：**8:00～17:00（1～3月は要相談）  
**申込方法：**名古屋商工会議所 事務局経由（6～1カ月前までに申込） **対応言語：**日本語のみ  
**備考：**同業者（金属プレス加工等）受入不可。スマホ持ち込み禁止。工場内は階段の昇降箇所あり。写真撮影不可。  
 ●P/バス2台、車10台

（出典）愛知・名古屋 MICE 推進協議会ウェブサイト（2023年3月時点）

## ■掲載事業者(掲載情報のうち、愛知県内のみ抜粋)

株式会社岩田三宝製作所(名古屋市熱田区) / 株式会社志水製作所 本社工場(一宮市) / アルプススチール株式会社(名古屋市中川区) / 株式会社伊藤精密工具製作所(名古屋市中川区) / グリーンサイクル株式会社(名古屋市港区) / 太陽電化工業株式会社(名古屋市瑞穂区) / 株式会社テクノプラス 名古屋本社・工場(名古屋市南区) / ホリベマシナリー株式会社(名古屋市西区) / 湯浅糸道工業株式会社 本社・第3工場(名古屋市天白区) / 葛利毛織工業株式会社(一宮市) / 株式会社鳥越樹脂工業 千秋工場(一宮市) / 株式会社ラカム(一宮市) / 株式会社松本義肢製作所(小牧市) / 株式会社オプトン(瀬戸市) / 堀田新五郎商店(津島市) / 日本街路灯製造株式会社 豊明工場(豊明市) / 株式会社半谷製作所 大府工場/衣浦工場(大府市) / 株式会社メタルヒート 本社工場(安城市) / カクキュー八丁味噌(八丁味噌の郷)(岡崎市) / 株式会社まるや八丁味噌(岡崎市) / 株式会社山田製作所(刈谷市) / 株式会社FUJI ショールーム(知立市) / 加茂精工株式会社(豊田市) / 横山興業株式会社 大見工場(豊田市) / スギ製菓株式会社(碧南市) / 株式会社メイドー 三好工場(みよし市) / 奥三河蒸留所(株式会社ランド)(新城市) / ダイドー株式会社(名古屋市中村区) / 株式会社バイナス 本社第1工場、第2工場 ロボット R&D センター、教育センター(稲沢市) / 丹羽ふとん店(名古屋市熱田区)

(出典) 愛知・名古屋 MICE 推進協議会ウェブサイト (2023年3月時点)

[https://aichi-nagoya-mice.jp/five\\_reason/index.html#visit](https://aichi-nagoya-mice.jp/five_reason/index.html#visit)

[https://aichi-nagoya-mice.jp/five\\_reason/pdf/visit.pdf](https://aichi-nagoya-mice.jp/five_reason/pdf/visit.pdf)

## ■テクニカルビジットの事例

| 会社名・所在地        | 概要   |
|----------------|--|
| A社<br>(東京都大田区) | <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋のイベント「おたおオープンファクトリー」で工場開放。</li> <li>・工場見学の個別相談にも対応。料金は無料。</li> </ul> <p>【主な国籍・受け入れ実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内がメイン。修学旅行や、工業系団体の視察。</li> <li>・海外研修生の視察受入を毎年実施。国籍は様々。</li> </ul> <p>【テクニカルビジットにより得られた成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナー企業との交流・連携が深まった。</li> <li>・社員の経営ビジョンに対する理解が深まった。</li> <li>・社内の知らなかった案件を相互に知る機会となった。</li> <li>・メディア露出のきっかけになった可能性がある。</li> </ul> |
| B社<br>(三重県桑名市) | <p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桑名市における産業観光の窓口を通じ、海外からのテクニカルビジットを受け入れている。</li> <li>・地域で受入機運が高まり、受入を開始。料金は有料。</li> </ul>   |

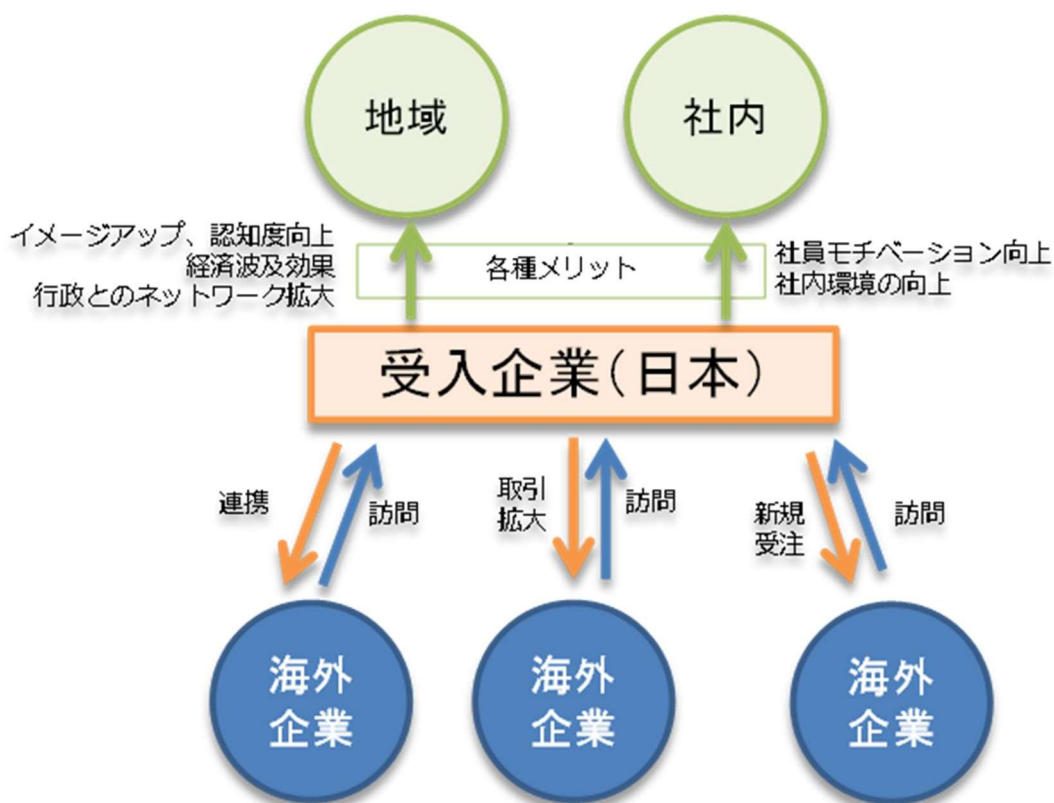
|                                |   |
|--------------------------------|---|
|                                | <p><b>【主な国籍・受け入れ実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの団体視察が大半。国籍は様々。</li> <li>・海外大手企業の経営層が中心。家族の帯同もあり。</li> </ul> <p><b>【テクニカルビジットにより得られた成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度やネームバリューが向上しつつある。</li> <li>・海外企業の経営層の思考回路や問題認識が分かる。</li> <li>・日本と海外における、事業運営の違いが分かる。</li> </ul>  |
| <p><b>C社</b><br/>(福岡県北九州市)</p> | <p><b>【取組の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100周年事業で設立した施設と工場の見学を予約制として実施。</li> <li>・学生は1年前、その他は3か月前から2週間前までの申込期限を設定(10名以上の団体)。料金は無料。</li> </ul> <p><b>【主な国籍・受け入れ実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内からの教育目的の来訪がメイン。</li> <li>・海外からは、中国・韓国を中心に団体訪問を受入。</li> </ul> <p><b>【テクニカルビジットにより得られた成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時流に沿ったCSRの実現ができる。</li> <li>・中期経営計画におけるSDGsの取組を体現できる。</li> <li>・見学コンテンツの存在は、本業の商談で関係者を北九州に招く動機付けとなる。</li> </ul> |

(出典) 愛知・名古屋 MICE 推進協議会資料 (～受入企業&視察企業ともに Win-Win～始動するテクニカルビジット・ネットワーク)

### ③メリットの共有による参画主体の拡大

- ・テクニカルビジットを受け入れることにより、各企業が様々なメリットを享受し、新たなビジネスの創出・拡大、人づくりにつなげられることを共有していく必要がある。
- ・これにより、参画主体の拡大・受入体制の強化が図られることで、愛知県がテクニカルビジットで選ばれる地域となることにつながり、地域での宿泊・飲食需要や観光消費が拡大し、観光振興に寄与していくことが可能となる。

図表 テクニカルビジットにおけるメリット



(出典) 愛知・名古屋 MICE 推進協議会「受入企業&視察企業ともに Win-Win〜始動するテクニカルビジット・ネットワーク」

### ④テクニカルビジットのメリットならびに課題

テクニカルビジットを進めることで得られる効果は、テクニカルビジットを実施している企業からの声も踏まえ、以下のとおり整理されている。

#### 【内部への効果】

- 海外企業や異業種企業のビジネス感覚や価値観に触れられる、学びの機会を得た。
- 視察者との意見交換を通じて、自社事業の改善点を見つけることができる。
- 受入で自社の認知度が向上し、社員のモチベーション向上や意識改革につながった。

た。

- 社内他部門と交流・情報交換する機会が生まれ、社内コミュニケーションが深まる機会となった。
- 社員が自社を改めて知るきっかけになり、経営理念や社内体制を自分の言葉で説明出来るようになった。
- 「誰かに見られること」を意識するため、4S（整理・整頓・清潔・清掃）が進んだ。
- 社員の能力が向上した（ディスカッション能力、プレゼン能力、ダイバーシティ・文化の違い等）
- 受入を正式にメニュー化し、有料化することで負担が軽減され、社会貢献・慈善活動ではなく、ビジネスの一環として捉えることもできる。

### 【対外的な効果】

- テクニカルビジットを受け入れる企業同士で、横のつながりや取引が生まれた。受入プログラムを連携して作ると、相互理解も深まり本業における協業の道が拓ける。
- 普段は接点のない人材（例：クリエイターやアーティスト等）とつながる可能性がある。
- 受入の様子がメディアで報道されたり、記録を自社ウェブサイトで発信することで、取引先や社会からの認知度向上に貢献したほか、信頼醸成やイメージ向上につながっている。
- 受入のために整備したプログラムや運用ルールは、本業での他社からの視察対応に生かすことができる。
- 他業種の方にも理解されるプログラムや説明コンテンツを整えると、リクルートにそのまま使える。また、子どもの受入ができるようになることで、地域人材の育成に貢献できるようになる。
- 受入を支援する行政や機関、先行して取り組む企業とのネットワークが構築され、様々な情報提供をうけるきっかけとなった。
- 近場の商業施設への立ち寄りと消費を誘導することで、地域経済に貢献できる。
- 商品を深く知ってもらえ、売り上げ増加につながった。

（出典）愛知・名古屋 MICE 推進協議会資料（～受入企業&視察企業ともに Win-Win～始動するテクニカルビジット・ネットワーク）



また、テクニカルビジットの旅行手配を担う旅行会社からは以下のような意見が得られている。

- 海外企業は、先進的とされる日本企業の取り組みを知る機会として、単に工場見学をするのではなく、社員がどのような意識で仕事に取り組んでいるか、どのような経営方針を持って仕事に臨んでいるか、利益を上げるためにどのような工夫をしているのか等、経営者側の視点で参考にしたいと考えている。
- 海外からの旅行行程は関東と関西を結ぶ、いわゆるゴールデンルート上を通るツアー行程が多い中、インセンティブツアーではその間に見学・研修が出来る場所が必要であるが、愛知・名古屋は適度な立地にあり、行程が組みやすい
- 愛知・名古屋には高い技術を持った会社が多く存在するため、海外企業のニーズを満たす可能性を十分に満たしている。

(出典) 旅行会社へのヒアリング結果

このように、テクニカルビジットは、社内環境の改善、人材育成・確保、社員意識の改革といった副次的な効果を生み出している。これらの効果を愛知県内の事業者において共有することで、テクニカルビジットの受入先を拡充し、MICE 訪問先として選ばれる地域となる可能性がある。

一方で、企業がテクニカルビジットに取り組む上では、本業務以外での負担が掛かることや、言語の課題、あるいは情報漏洩のリスクも有している。

観光協会へのヒアリング調査においても、テクニカルビジットの受入企業は、情報管理の観点から極めて少なく、受け入れた場合であっても、当たり障りのない部分の見学等にとどまることが多いとの話があった。

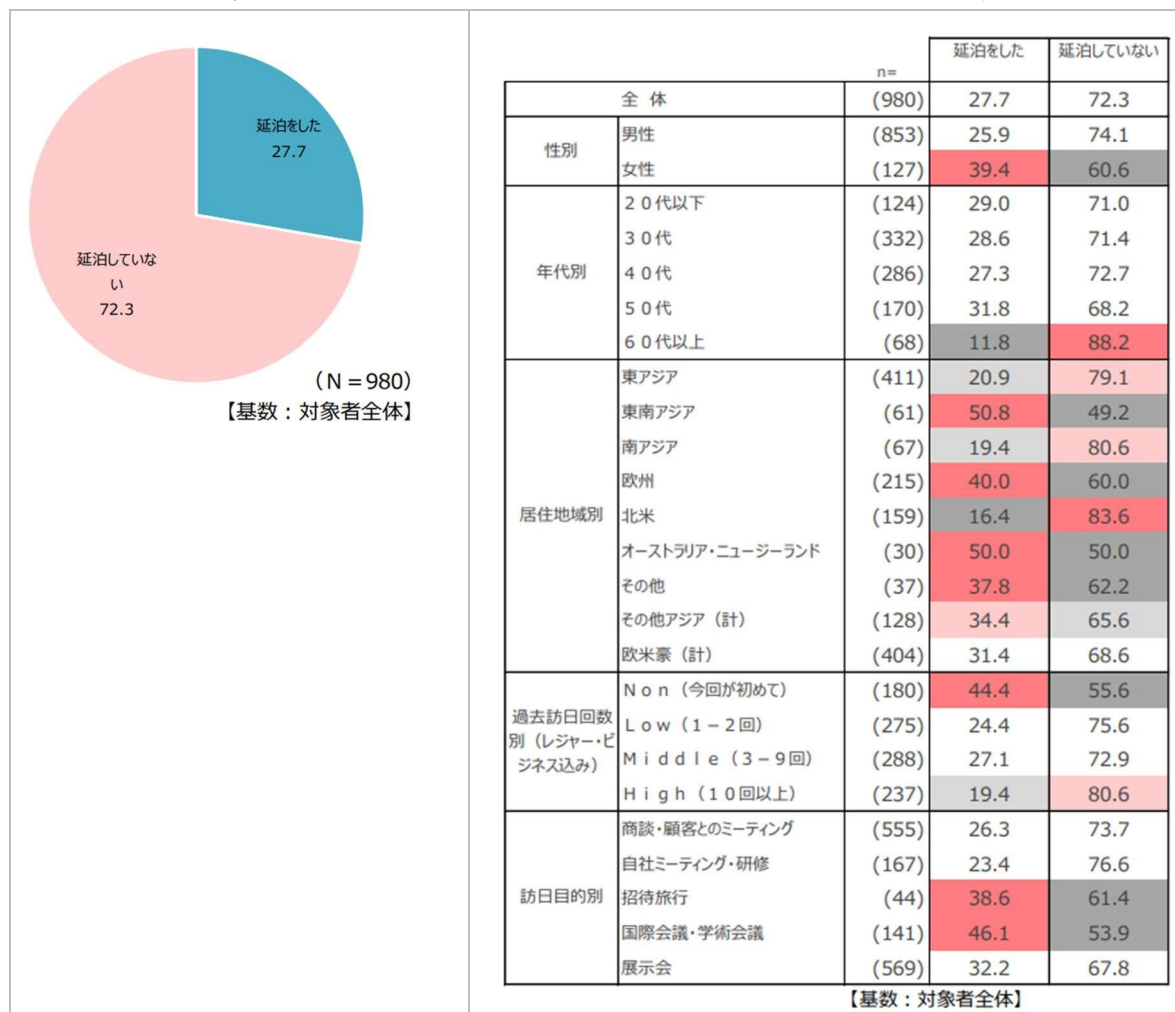
これらについては、先行事例も参考に、テクニカルビジットの有料化等、持続可能な対策を講じつつ、テクニカルビジットの受け入れ企業を増やしていく必要がある。

## 2) ブレジャーの動向

### ①ブレジャー滞在の動向

- ・ビジネスでの来訪者が業務開始前または終了後に業務以外の目的で延泊を行う、いわゆるブレジャーの動向についての観光庁の調査によると、訪日外国人ビジネス客のブレジャー実施率は27.7%である。
- ・居住地域別にみると、東南アジア（50.8%）や、オーストラリア・ニュージーランド（50.0%）、欧州（40.0%）の実施率が高い。
- ・過去訪日回数別では、訪日が初めての人のブレジャー実施率は44.4%であり、訪日10回以上の層の実施率（19.4%）の2倍以上高く、初めての滞在の場合のブレジャー実施率は高い傾向にある。
- ・MICE 目的別では、国際会議・学術会議での訪問者のブレジャー実施率が46.1%と高い数値を示した。

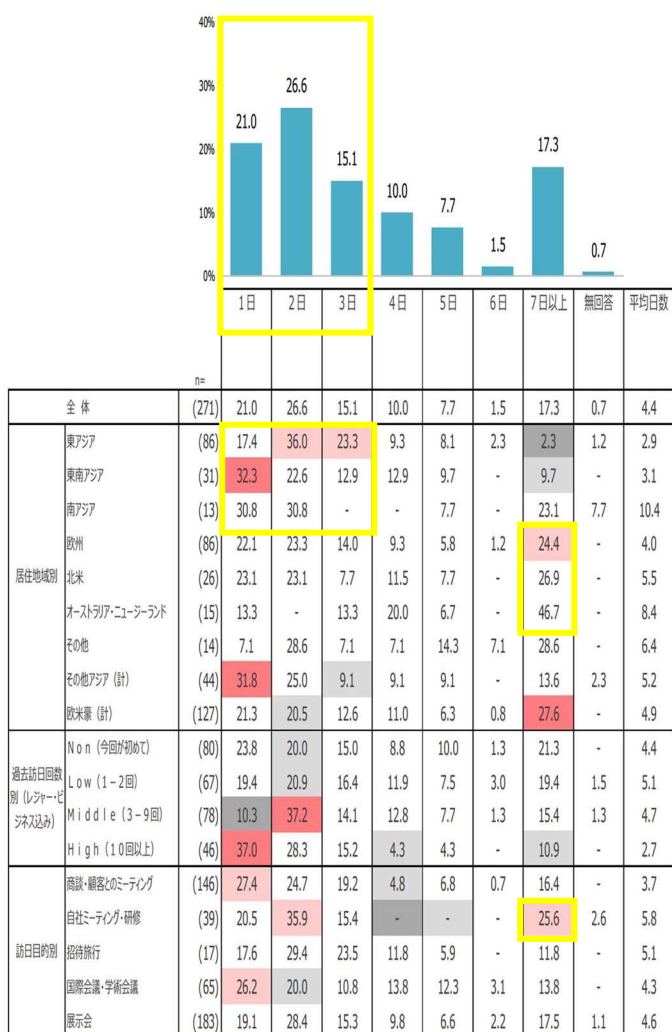
図表 日本における外国人ビジネス客のブレジャーの動向



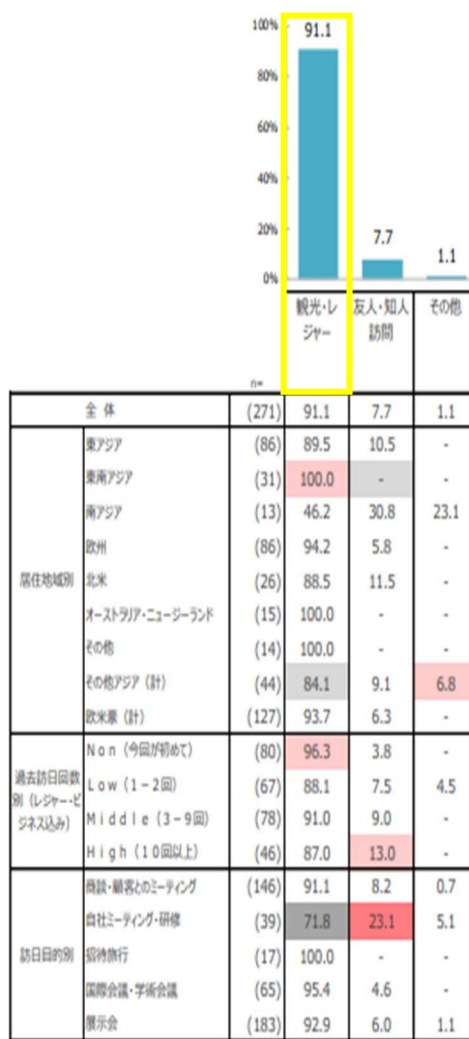
（出典）観光庁「MICE 関連訪日外国人へのブレジャー活用実態調査 中間報告（2020年1月）」

- ・延泊日数については、「2日」が最も多い数値となっている（26.6%）。全体としては「3日以内」が6割以上を占めるボリュームゾーンとなっている。
- ・地域別の特徴として、アジアの延泊日数は短く、欧州や北米、豪州等は長い傾向がある。
- ・訪日目的別では、自社ミーティング・研修を目的としている場合、滞在日数が長くなっている。
- ・延泊目的としては、観光・レジャーが91.1%と高い数値となっている。

図表 国・地域別の延泊日数



図表 国・地域別の延泊目的



【基数：今回業務以外の目的で延泊をした】

調査対象者： ビジネス目的で日本を訪れている外国人

調査方法： 対面式調査（対象となる場所に調査員を派遣し、調査対象者に調査依頼を行い、承諾した対象者に対して調査員の聞き取り形式で回答を回収）

調査実施場所・イベント： 成田空港、SEMICON Japan（開催場所：東京ビックサイト）、国際ロボット展（開催場所：東京ビックサイト）、New Directions 2019（開催場所：パシフィコ横浜）

（出典）観光庁「MICE 関連訪日外国人へのブレジャー活用実態調査 中間報告（2020年1月）」

## ②愛知県内におけるブレジャーの動向

- ・愛知県内のブレジャーでの訪問先をみると、名古屋市内の観光スポットに加え、県外の近隣観光地への訪問も見られる。

### **主な訪問先（回答の多い順に列挙）**

【観光地】名古屋城、京都<sup>\*</sup>、トヨタ産業技術記念館、伊勢神宮<sup>\*</sup>、熱田神宮、大須、白川郷<sup>\*</sup>、富士山<sup>\*</sup> 等（<sup>\*</sup>は愛知県外）

【観光コンテンツ】有松絞体験、大相撲観戦、ゴルフ、温泉 等

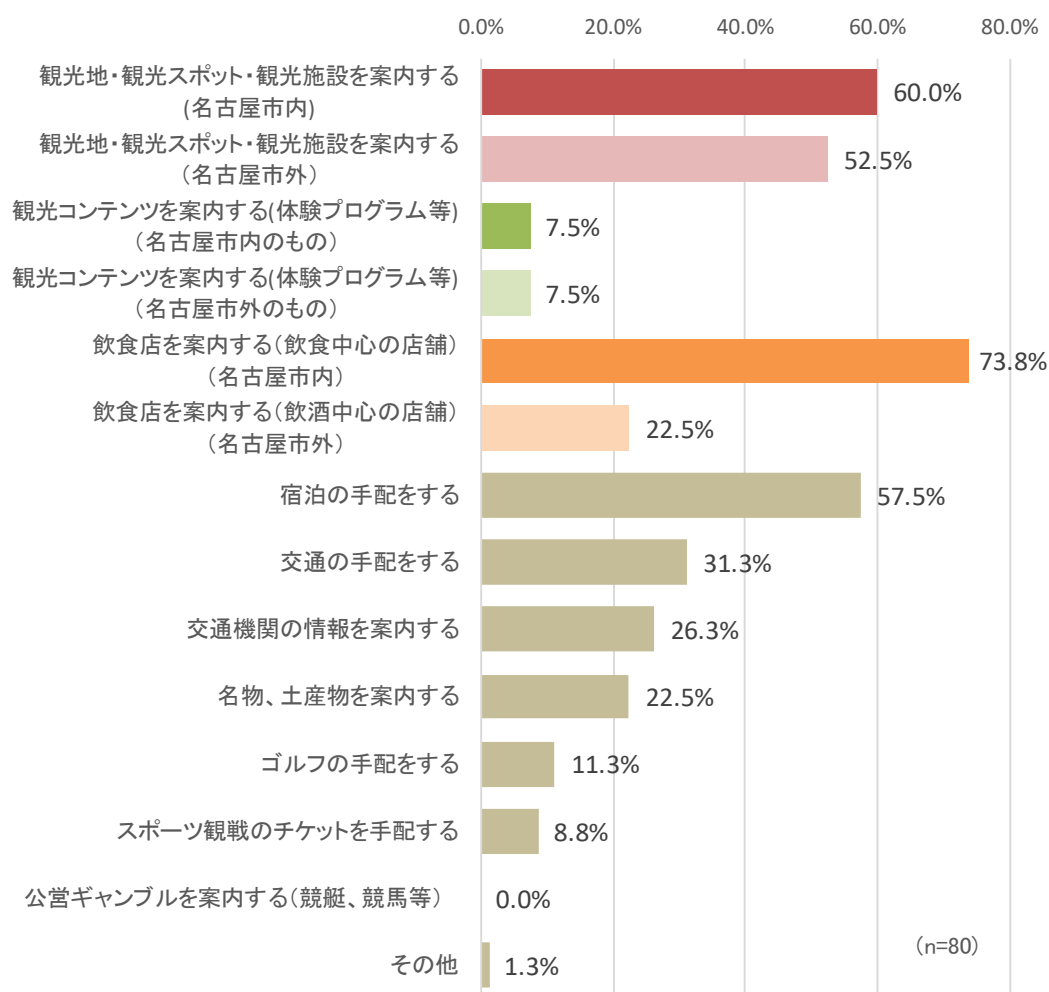
【飲食店】なごやめし、肉料理（すきやき、焼肉、しゃぶしゃぶ）、和食（料亭等）、ラーメン等

（出典）「ブレジャー（BLEISURE）の手配に関する実態調査」名古屋商工会議所  
ブレジャー推進セミナー「ビジネス客を観光客へ ブレジャーで地域活性化」資料  
（主催：名古屋商工会議所 愛知・名古屋 MICE 推進協議会、2021年2月開催）

## ②ブレジャーの受け入れ側が手配する際の内容

- ・ブレジャーでは、名古屋市内のみならず、市外の観光地などや飲食店にも誘導がなされ、市内外への観光消費の喚起につながられている。
- ・手配内容で最も多い「飲食店を案内する（飲食中心の店舗）」の自由回答では、「靴を脱がない店の情報」、「アレルギー対応」への要望があり、ニーズに合わせてインバウンドに対応できる施設を適確に紹介できる仕組みが必要である。
- ・「観光地・観光スポット・観光施設を案内する（名古屋市内）」では、観光地としての魅力のPRが少ないという意見や、名古屋発着のツアーがあるとよいという意見がある。ものづくり企業を活用したテクニカルビジットや体験プログラムなどの拡充、県外の観光資源も活用したショートトリップのモデルケースの情報発信などが期待されている。

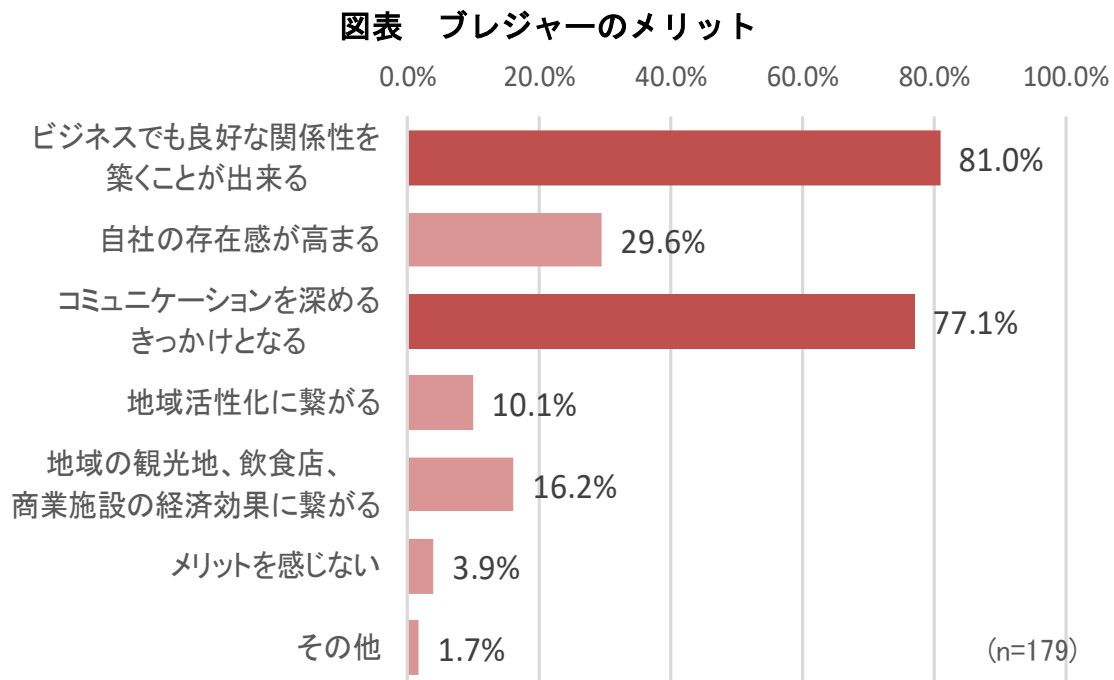
図表 ブレジャーの受け入れ側手配する際の内容



(出典)「ブレジャー (BLEISURE) の手配に関する実態調査」名古屋商工会議所  
 ブレジャー推進セミナー「ビジネス客を観光客へ ブレジャーで地域活性化」資料  
 (主催：名古屋商工会議所 愛知・名古屋 MICE 推進協議会、2021年2月開催)

#### ④ブレジャーのメリットと課題

- ・名古屋商工会議所の調査によると、ブレジャーのメリットとしては、「ビジネスでも良好な関係性を築くことができる」や「コミュニケーションを深めるきっかけとなる」といった点が挙げられている。

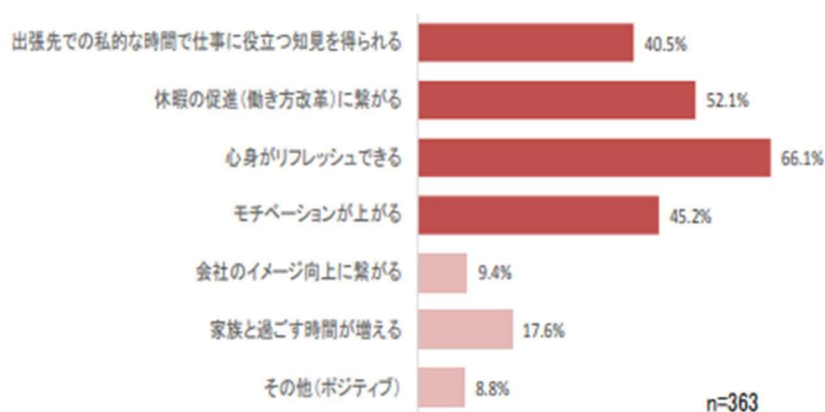


(出典)「ブレジャー (BLEISURE) の手配に関する実態調査」名古屋商工会議所  
ブレジャー推進セミナー「ビジネス客を観光客へ ブレジャーで地域活性化」  
(主催：名古屋商工会議所 愛知・名古屋 MICE 推進協議会、2021年2月開催) 資料

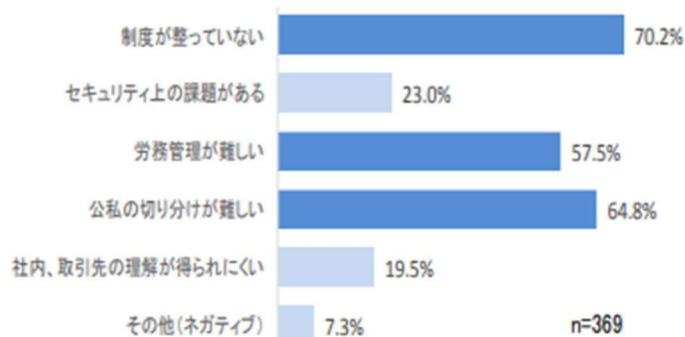
- ・同調査において、ブレジャーに対する肯定的な意見としては、「心身がリフレッシュできる」、「休暇の促進（働き方改革）につながる」、「モチベーションが上がる」等が挙げられた。
- ・否定的な意見としては、「制度が整っていない」、「公私の切り分けが難しい」、「労務管理が難しい」等が挙げられており、現状におけるブレジャーの課題と考えられる。

図表：ブレジャー活用に対する意見

**ブレジャー活用に対する意見〈ポジティブ〉**



**ブレジャー活用に対する意見〈ネガティブ〉**



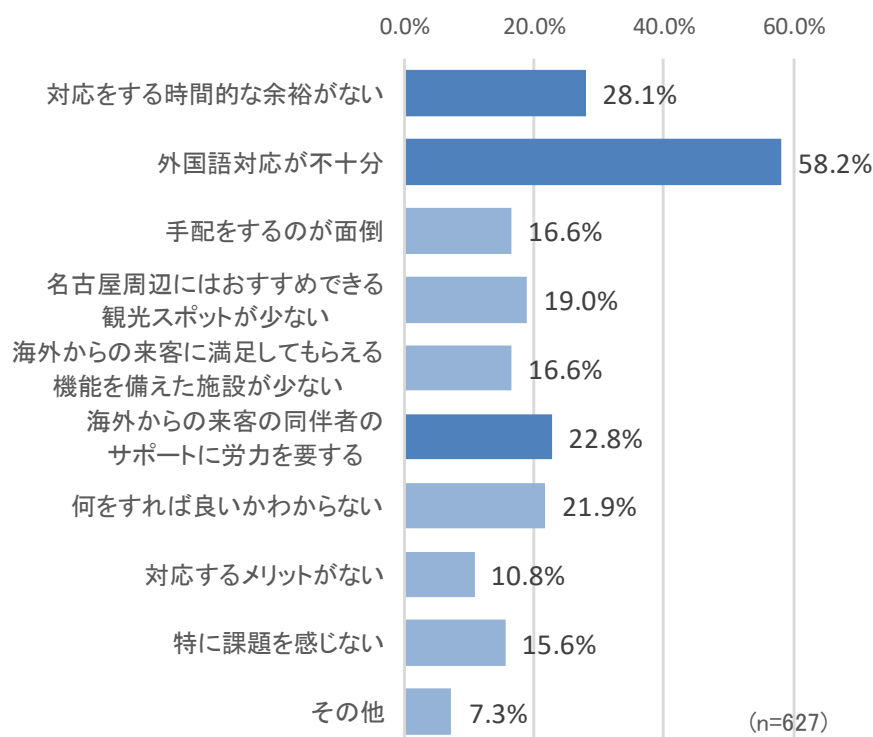
(出典)「ブレジャー (BLEISURE) の手配に関する実態調査」名古屋商工会議所  
 ブレジャー推進セミナー「ビジネス客を観光客へ ブレジャーで地域活性化」  
 (主催：名古屋商工会議所 愛知・名古屋 MICE 推進協議会、2021年2月開催) 資料

- ・また、ビジネスタイムにおいては必要に応じて通訳が手配されるが、ブレジャーのようなビジネスタイム後のプライベートタイムにおいては通訳が同行しないことがあり、受入企業が訪問者のブレジャー接遇をする場合には、外国語対応の課題が出てくる。



- そのため、外国語でのコミュニケーションや、言語面でのサポートがあればブレジャーの機会が増える可能性がある。
- 対応する時間がない、何をすれば良いかわからないという意見もあり、ブレジャーに必要な知識とサポートする仕組みの構築により、ビジネスメリットの拡大に寄与することができる。

図表 ブレジャーの課題



(出典)「ブレジャー (BLEISURE) の手配に関する実態調査」名古屋商工会議所  
 ブレジャー推進セミナー「ビジネス客を観光客へ ブレジャーで地域活性化」  
 (主催：名古屋商工会議所 愛知・名古屋 MICE 推進協議会、2021年2月開催) 資料

### 3) ワークেশョンの動向

愛知県及び中部エリアを中心に、実施されているワークেশョンの先進的な取組を整理した。

#### ①ワークেশョンの現状

- ・新型コロナウイルスの流行を契機として、テレワークの普及や働き方の多様化が進みつつあり、その中で新しい働き方・休み方として、ワークেশョンへの注目が高まっている。
- ・このワークেশョンを活用し、多くの人・企業を呼び込もうとする取組が全国各地で行われるようになってきている。
- ・愛知県においても、ビジネス来訪者を取り込むうえで、ワークেশョンの推進が考えられるため、事例調査を行った。

#### ②ワークেশョンの取組調査

- ・ワークেশョンの取組内容や課題等について、静岡県および佐賀県の民間事業者等からヒアリングを行い、その内容について以下のとおり整理した。

#### ■ 静岡県熱海市の民間事業者によるワークেশョン取組事例

- ・熱海はかつて国内有数の観光地として隆盛を極めたが、バブル崩壊後は不景気の影響を長らく受け、これに伴い人口減少や高齢化が加速。こうした状況の中、同社は地域や顧客企業を巻き込んで地域の課題解決を目指すための取組を開始。
- ・その一環として、地域課題への取組をプログラムとした企業研修ビジネスを立上げ、顧客企業と一緒に地方創生分野での事業を生み出す事業開発コーディネートにも事業を展開。同社の運営する貸会議室、ワーキングスペース、ゲストハウスなどの利用にも繋がっている。研修受入の際には地元商店街や飲食店等の地域の魅力を伝えており、結果的に参加企業が地域のファンになることにも繋がっている。
- ・ワークেশョン事業立上げにあたっては、企業の求めるスタイル・目的、規模（人数・回数）、熱海の競争優位性といった項目で分析を行い、特に人材育成を目的とした研修事業を主なターゲットとした。
- ・同社の研修プログラムは、日常の職場を離れ、現場に飛び込んで、リアルな地域課題や人に向き合い、そこで得た学びを日常の業務に生かすことを特徴としている。社会課題解決に繋がる研修を実施している地域は他にもあるが、地域のプレーヤーと直接触れ合える点で、高評価を得ている。

- ・リノベーションまちづくりの成果指標には、①エリア価値の向上(不動産価値の向上)、②雇用の増加と平均所得の向上(付加価値の高い産業を生み出す)、③中心市街地人口の増加があり、ワーケーション事業でもこれらの観点を重視している。
- ・今後はワーケーションのターゲティング検討をさらに深めるとともに、施設や地域事業者における課題を分析し、ターゲット別にプロモーションを掛け、さらなる地域の課題解決に繋げることを目指す。
- ・地域の多様な使い方を生み出し、地域の課題を解決していくためにも、地域全体でワーケーションに取り組むビジョンの擦り合わせ、機運醸成が重要と考えているが、民間が単独で取り組むには限界があるため、そうした面で行政の力は重要である。

同社所有の貸会議室



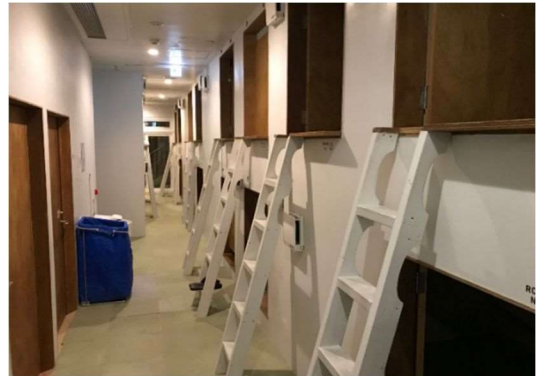
(写真) 愛知県提供

同社運営のワーキングスペース



(写真) 同社ウェブサイト

同社所有のゲストハウス



(写真) 愛知県提供

## ■ 佐賀県嬉野市のワーケーションの取組事例(温泉旅館と民間事業者)

- ・コロナの流行や働き方改革によって時代は大きく変化しており、100室以上を持つ旅館は多くの客室が余っている状態である。その余った客室をサテライトオフィスとして企業誘致を行おうという発想により、事業が始まった。
- ・旅館と地域の双方に相乗効果をもたらす企業を呼び、地域課題をともに解決することを目指している。
- ・主な共同事業として、民間企業側が旅館のオフィシャルサイト作成・運営、採用パンフレットの作成等を行う旅館プロモーション事業や、当地域をスタートアップの集積地とすることを目指すスタートアップ支援事業、温泉入り放題特典や客室・宴会場を改装したサテライトオフィス・コワーキングスペース、コンシェルジュサービス等のコンテンツを用意したワーケーション事業を行っている。
- ・スタートアップを旅館内に誘致し、我々がインキュベーター（新しく生まれた企業を育成する機関）の役割を務め、スタートアップが発想しやすい環境を提供し、知見を共有することで、課題解決にともに取り組んでいく。
- ・スタートアップ支援事業において、行政と連携している。主に行政の補助金を活用し、オフィスの賃料の補助を行っている。当地域への企業誘致と比べ、愛知県には多くのものづくり企業が立地しており、企業誘致の可能性は非常に大きい。
- ・温泉ワーケーションでは決まった時間に食事を取るなど、ゆるやかにコントロールされた規則正しい生活を送ることができる。温泉もいつでも入ることができ、メンタル的に整うため、仕事の効率は非常に上がる。ワーカーにとって温泉旅館のオフィスは最強のインフラだと考えている。
- ・ワーケーションにおいては、仕事をしやすい環境づくりだけでなく、地域との親和性を大事にしている。
- ・これまで30名以上の現地での雇用を創出した。視察もこれまで300組、1,000名の視察を受け入れ、メディアの取材も今では月に1～2回は受けるようになり、大きな宣伝効果を生んでいる。
- ・デザイナーや会計士、弁護士といった様々な職種の方が当旅館でワーケーションを行っている。家族と一緒に来る方も多く、仕事をしている間に配偶者・子どもは温泉や観光を楽しむことができ、家事の負担もないことから、家族にも好影響を与えている。
- ・課題としては、ワーケーションの概念が広いこともあり、どのように独自のワーケーションのサービスを打ち出していくかを考えている。当旅館では、温泉等、当地域ならではの資源をワーケーションのコンテンツとして盛り込み、ここでしか味わえない唯一無二のワーケーションを目指している。
- ・テレワーク補助金も充実し始めているが、条件として1回の滞在期間が長期間であることが必要となっている。3泊4日で月2回訪れるようなワーケーションの利用

者もいるため、そういったワーケーションの利用頻度が高い人たちのための補助も充実させる必要があると感じている。

## 温泉旅館内の各施設

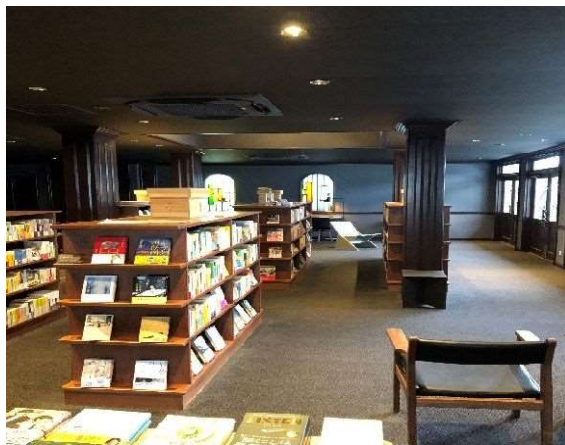
コワーキングスペース



レンタルオフィス



書店



茶寮



(写真) 愛知県提供

## ■ 嬉野市によるワーケーションの取組事例

- 地方創生臨時交付金を活用し、ワーケーション環境整備事業を行った。内容としては、人気雑誌を活用したPR、モニターツアーの実施、Web 広告やリーフレットの作成、公園施設を始めとしたワーケーション環境整備の4つを主に行った。
- もともとは観光客やインバウンド対策のためWi-Fi や公園の整備を行っていたが、コロナによって特にインバウンドが消失してしまった。そうした中、ワーケーション等の新しい働き方が登場するようになり、地域内の温泉や公園等の整備はこうしたワーケーションに活用できるのではないかと考え、事業開始に至った。
- ワーケーションは地域に人を呼び込むツールであり、今後ニーズが高まると考えている。ワーケーションの環境を整備することで、交流人口を拡大し、地域内の消費活動や移住の機会の創出につなげることを狙いとしている。
- ワーケーション事業の主なターゲットはフリーランスである。ワーケーションによって地域の良さを感じてもらい、交流人口・移住を増やしていきたい。
- モニターツアーを通じて地域の魅力を伝えることで良いPR 効果が期待できる。モニターツアー後にアンケートを実施したが、概ね好評であった。アンケートから課題点も抽出し、すぐに対応可能であったWi-Fi の連続接続可能時間を1時間から3時間に延長した。
- ワーケーションが広がっていくためにはテレワークへの理解・環境整備が進んでいくことが必要であるが、地域全体で見ると限りでは、テレワークの実施はまだまだ進んでいない。テレワークも職種によってしやすい、しにくいがあると思う。デスクワークはテレワークも容易だが、工場のような製造現場ではそもそも不可能である。
- 大企業であり、かつテレワークが容易な職種でなければ、企業によるワーケーションの推進は難しいのではないかと。
- 有給休暇等、福利厚生においてワーケーションがもっと認められるようになることが必要だと思う。

嬉野市内のワーケーション施設



(写真) 愛知県提供





### ③愛知県および中部エリアにおけるワーケーションの取組事例

#### ■愛知県

図表 ワーケーションの現状（愛知県）


| 県名  | 取組                                   | 概要   |
|-----|--------------------------------------|--|
| 愛知県 | あいちの山里ワーケーション                        | <p>「あいちの山里」は、岡崎市（額田地区）、豊田市（旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡の各地区）、新城市、設楽町、東栄町、豊根村の6つの市町村にまたがる山村地域の総称。自然に囲まれながらワーケーションを楽しむことができる宿泊施設などを紹介するポータルサイト。</p>  <p>(写真) 愛知県ウェブサイト<br/> <a href="https://aichi-yamazato.jp/workation/">https://aichi-yamazato.jp/workation/</a></p> |
| 愛知県 | 愛知県観光協会による宿泊事業者向けのワーケーション環境整備等の補助金新設 | <p>愛知県観光協会は県内の宿泊事業者を対象に、コロナ対応ガイドラインに適合する設備等の導入や、ワーケーション環境整備のための補助金を新たに創設。ワーケーションを新たな需要に対応するための取組として、ワーケーションスペース設置・改修費、Wi-Fi 導入・整備費、非接触チェックインシステムの導入費等が補助の対象となる。補助額は対象経費の3/4以内（上限500万円）。</p>  |
| 愛知県 | 蒲郡市                                  | <p>蒲郡でワーケーション！<br/>『GAMAWORK』</p> <p>蒲郡商工会議所青年部主催にて、2022年6月の1か月間、蒲郡商工会議所のコワーキングEGGをはじめ、宿泊施設やコワーキング施設、期間限定の施設等、市内の様々な場所をワーケーション施設として提供。また、6月12日には「竹島メインイベント」として、竹島を望む俊成苑にて多種多様なワークスペースの提供、飲食ブースや異業種交流会、eスポーツ大会などのイベントを開催。</p>   |

|     |     |                   |   |
|-----|-----|-------------------|---|
|     |     |                   |  <p>(写真) MURC</p>   |
| 愛知県 | 蒲郡市 | 温泉旅館がワーケーション部屋を導入 | <p>蒲郡市西浦町の温泉旅館「旬景浪漫 銀波荘」と「天空海遊の宿 末広」では、ワーケーションに対応した部屋と宿泊プランを導入。銀波荘は七階の二部屋にワーケーション用の広めのカウンターを設置。一方、末広は、部屋の外のデッキ部分に足湯が付いた3、4階の6部屋をワーケーション用とし、机と座椅子の貸出を行う。開放的な景色を前に仕事に取り組むことができる。蒲郡市三谷温泉の旅館「平野屋」では、ワーケーションプランを販売。仕事用のテーブルや椅子、Wi-Fiに加え、プリンターや印刷用紙、モニター、デスクライトも備えたテレワーク専用の部屋を用意する。他、館内にはカラオケルームを改装したコワーキングスペースも完備。昭和レトロな旅館の雰囲気を残した空間にて、ワーケーションや会議を行うことができる。</p>  <p>(写真) PIXTA</p> |
| 愛知県 | 西尾市 | ワーケーション吉良         | <p>西尾市の吉良温泉でワーケーションを楽しむことができる宿泊施設やワーキングスペース、他周辺の観光スポットやモデルプランを紹介するワーケーションポータルサイト。</p>   |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  <p>(写真) PIXTA</p> |
|--|--|--|--|



■中部エリア（愛知県以外）

図表 ワークেশョンの現状（中部エリア：愛知県以外）

| 県名  | 取組                     | 概要  |
|-----|------------------------|---|
| 富山県 | ワークেশョンポータルサイト「めぐるとやま」 | <p>ワークেশョン施設やモデルプランなど、富山でのワークেশョン情報を提供するポータルサイト。</p>  <p>(写真) PIXTA</p> |
| 富山県 | とやまワークেশョン推進事業助成金      | ワークেশョンの推進による関係人口の創出及び移住促進を図るため、県外の民間企業や団体等が行う地域交流、地域貢献活動を含むワークেশョン（コ・ワークেশョン）の宿泊費に対し助成を実施。対象は県外民間企業、団体等。   |
| 富山県 | 黒部市                    | 住定夢の館   |
|     |                        | <p>まち起こしを目的として「生地ふるさと暮らし推進協議会」が運営する、黒部市生地（いくじ）にある戸建ての住まいの1階を利用した施設。1泊2,000円（中学生以下は無料）。漁村の街の暮らしを感じることができ、移住体験の他、ワークেশョン施設としての利用も可能。</p>                      |

|     |     |                       |  |
|-----|-----|-----------------------|--|
|     |     |                       |  <p>(写真) PIXTA</p>   |
| 富山県 | 朝日町 | さゝ郷<br>ほたる交流館         | <p>空き家を改修した施設。1泊1,000円（中学生以下半額）。朝日町の風土、文化、住民とのふれあいや、農林漁村生活体験などの交流を通じて、朝日町への定住・半定住や、地域の活性化につなげるための交流体験施設。ワーケーション施設としての利用も可能。</p>  <p>(写真) 朝日町ウェブサイト<br/> <a href="https://www.town.asahi.toyama.jp/kurashinojouhou/shisetsu/1585115863177.html">https://www.town.asahi.toyama.jp/kurashinojouhou/shisetsu/1585115863177.html</a></p> |
| 石川県 | 七尾市 | 能登七尾サステイナブルツーリズム推進協議会 | <p>商議所と市、七尾街づくりセンターで組織され、能登の里山里海を舞台に、自然環境や地域社会、経済に配慮しつつ持続可能な観光振興を目指す。環境省の補助金を活用し、各種団体と連携しながら市内で楽しめる体験型観光プログラムを作成するほか、余暇を楽しみながら勤務する「ワーケーション」の受け入れ態勢を強化。</p>   |
| 石川県 | 七尾市 | ANAふるさと発見プログラム        | <p>七尾市とANAセールスがコラボしワーケーション商品を発売。2020年12月の第1弾では働きながら地域の魅力を体感できる「体験プログラム」とワークスペースがセットになった商品を販売。ホテルは和倉温泉の「ホテル海望」「多田屋」を設定、体験プログラムは「牡蠣棚見学&amp;牡蠣づくし満喫体験」「季節野菜収穫・薪割り・ピザ作り体験」を用意。</p>   |

|     |     |                          |  |
|-----|-----|--------------------------|--|
|     |     |                          |  <p>(写真) PIXTA</p>   |
| 福井県 | 福井市 | 越廼（こしの）サテライトオフィス開設       | <p>日本海が目の前に広がるオフィスデザイン。施設周辺には観光地も多く、休暇を利用したワーケーションも楽しめる。</p>  <p>(写真) 福井市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/syokou/tsinkou/koshinofurutele.html">https://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/syokou/tsinkou/koshinofurutele.html</a></p>  |
| 福井県 | 福井市 | 越前海岸ワーケーションモニター募集        | <p>近年若い世代の移住者やUターン者が増えており、移住を検討している方にとって「魅力の地」となっている越前海岸エリア。2泊3日以上ワーケーションを実施し体験レポートやアンケートを提出することで、協力費（2万円）が支給されるモニター企画を実施。</p>  <p>(写真) 福井市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/syokou/tsinkou/p024769.html">https://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/syokou/tsinkou/p024769.html</a></p> |
| 福井県 | 高浜町 | ユニリーバ・ジャパンと高浜町がワーケーション連携 | <p>大手企業と連携した地域活性化プロジェクトとして、高浜町とユニリーバ・ジャパンがワーケーション連携を開始。町は異業種の人が共同で働けるコワーキングスペースと宿泊施設を備える「高浜町まちなか交流館」を職場として同社に無償提供する一方、同社社員は働きながら地域の商品開発</p>  |

|     |                    |   |
|-----|--------------------|---|
|     |                    | <p>や起業など町の課題解決にかかわる活動を行うことでWINWINの関係を目指すもの。</p>  <p>(写真) 高浜町ウェブサイト<br/> <a href="https://www.town.takahama.fukui.jp/page/sougouseisaku/waacation/p006502.html">https://www.town.takahama.fukui.jp/page/sougouseisaku/waacation/p006502.html</a></p> |
| 長野県 | 信州リゾートテレワーク<専用サイト> | <p>長野県内のリゾート地やコワーキングスペースなどで仕事をしながら、バケーションも楽しむライフスタイルとして県が推進する取組。イベントやワーキングスペースを紹介。茅野市、軽井沢町、白馬村、佐久市、駒ケ根市、山ノ内町、信濃町をモデル地域として実施。</p>  <p>(写真) PIXTA</p>  |
| 長野県 | ワーケーション EXPO@信州    | <p>長野県が、ワーケーション自治体協議会と（一社）日本テレワーク協会とともに、ワーケーションに関心の高い企業（参加者）と、ワーケーション受入自治体/企業をつなぐ場を創出し、より具体的に「新しい働き方」の実践に向けた取組を後押し。講演・セッションの他、バーチャルブースを出展している自治体・企業との交流や地域を体験する機会を提供。</p>   |


|     |                  |  |
|-----|------------------|--|
|     |                  |  <p>(写真) 長野県ウェブサイト<br/> <a href="https://www.pref.nagano.lg.jp/hisho/kensei/soshiki/soshiki/bukaigi/documents/20201022sonotal.pdf">https://www.pref.nagano.lg.jp/hisho/kensei/soshiki/soshiki/bukaigi/documents/20201022sonotal.pdf</a></p>  |
| 長野県 | 信州リゾートテレワーク実践支援金 | <p>リゾートテレワーク（ワークショップ）推進の一環として、信州リゾートテレワークを実践する企業・個人事業主等に対し、宿泊費の一部を支援。対象者・日程等の条件に該当する場合、1泊あたり2,000円（1～2泊目）～3,000円（3～7泊目）の支援が受けられる。※現在は一時受付停止中。</p>  |
| 長野県 | 駒ヶ根市             | <p>都市部から駒ヶ根市へ「人と仕事の流れ」をつくるため、かつ、子育てなどで就労時間に制約があり一般的な就労が困難な市民にも働ける環境をつくるために、2017年3月1日、駒ヶ根テレワークオフィス（通称:Koto コト）を開設。</p>  <p>(写真) 駒ヶ根市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.komagane.nagano.jp/soshiki/hikiichiran/syokoukankouka/kogyokakari/4/1791.html">https://www.city.komagane.nagano.jp/soshiki/hikiichiran/syokoukankouka/kogyokakari/4/1791.html</a></p> |
| 長野県 | 茅野市              | <p>ワークラボ八ヶ岳＜専用サイト＞<br/>         学生・企業・地域住民・別荘利用者など市内外の様々な人々が、豊かなワークライフの実現を目指し、様々な取組を試すことができる場所としてワークスペースやラウンジ等の施設を提供。</p>  |

|     |     |                 |  |
|-----|-----|-----------------|--|
|     |     |                 |  <p>(写真) 茅野市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/syokou/workation-portal.html">https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/syokou/workation-portal.html</a></p>  |
| 長野県 | 佐久市 | JR 東日本企画と包括連携協定 | <p>佐久市・JR 東日本企画双方の資源の有効活用と共創・協働を行い“テレワークで活躍できるまち”の実現をめざす。市内に複数のテレワーク拠点を設け、企業誘致やUI ターンに力を入れていく計画の佐久市を JR 東日本企画が企業誘致や、UI ターンなどの移住を含む雇用の創出でサポート。</p>  <p>(写真) : 佐久市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.saku.nagano.jp/shichonohoya/photo_report/h30/00022019031209.html">https://www.city.saku.nagano.jp/shichonohoya/photo_report/h30/00022019031209.html</a></p> |
| 長野県 | 千曲市 | ワーケーション体験会開催    | <p>ノマドワークやテレワークを積極的に行い、新しい働き方に関心の高い企業・個人に対し「千曲市ワーケーション」での活用を提案する取組。</p>  <p>(写真) 千曲市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.chikuma.lg.jp/soshiki/hishokoho/koho_kocho/1/1/5/2254.html">https://www.city.chikuma.lg.jp/soshiki/hishokoho/koho_kocho/1/1/5/2254.html</a></p>  |





|     |      |                   |  |
|-----|------|-------------------|--|
| 長野県 | 軽井沢町 | ワークスペースの拡充        | <p>テレワーク協会と観光協会が協働し、10回近くワークスペースの実証実験を実施。使う人のニーズを反映しつつ、ワーケーションの実施場所はテレワーク協会が一元管理して紹介することで、利用者を見極め軽井沢の価値を下げないように、ハイクオリティな町づくりを行っている。</p>  <p>(写真) PIXTA</p> |
| 長野県 | 軽井沢町 | 「ハナレ軽井沢」          | <p>食とワークが融合したライブキッチン&amp;ワークスペースとして、一般社団法人日本ガストロノミー協会と有限会社ジェイブランディングが、軽井沢駅前にオープン。日中はスイーツショップ、カフェ、コワーキングスペースとして、夕刻以降はコミュニティサロンとしてバー営業している。</p>  |
| 長野県 | 立科町  | 立科<br>WORKTRIP    | <p>長野県立科町の自然の中で仕事をするための開発合宿のサイト。ワーケーションのできる施設を一覧で見ることができる他、WiFi やプロジェクター・PC・ホワイトボードなどの備品を無料で借りられる仕組みも備えている。</p>  <p>(写真) PIXTA</p>                       |
| 長野県 | 山ノ内町 | 山の駅にコワーキングスペースを開設 | <p>東京理科大発のベンチャー企業である株式会社 Shinonome と協働し、2019年12月21日に「日本で一番星に近いコワーキングスペース hiroen」を開設。志賀高原を満喫してもらうため、あえて利便のよい駅近くではなく、リゾート地中心の山の駅を拠点としたことが特徴。</p>   |

|     |      |                                |   |
|-----|------|--------------------------------|---|
|     |      |                                |  <p>(写真) PIXTA</p>  |
| 長野県 | 山ノ内町 | テレワーク<br>オフィス開<br>設支援事業<br>補助金 | <p>移住定住を推進するため、町内での起業を支援するための「起業チャレンジ支援事業補助金」を設けるほか、サテライトオフィスとして活用してもらうための支援策としての補助金も設けている。</p>   |
| 長野県 | 信濃町  | 信濃町ノマ<br>ドワークセ<br>ンターを開<br>設   | <p>町内経済活性化を目指し2019年6月1日にオープン。宿泊機能や食堂はなく、地元のペンションやホテル、旅館に泊まり、地元の農産物を使ったケータリングを利用してもらうことで地産地消へとつなげる。</p>  <p>(写真) 信濃町ウェブサイト<br/> <a href="http://shinanomachi-nagano.jp/jp/wp/?p=213">http://shinanomachi-nagano.jp/jp/wp/?p=213</a></p> |
| 長野県 | 信濃町  | 信濃町ノマ<br>ドワークセ<br>ンター          | <p>信濃町とNPO法人Nature Serviceが作った、自然の中にある法人向け貸し切り型リモートオフィス施設「Nomad Work Center」の専用サイト。</p>  <p>(写真) 信濃町ウェブサイト</p>  |

|     |                  |                    |   |
|-----|------------------|--------------------|---|
|     |                  |                    | <p><a href="http://shinanomachi-nagano.jp/jp/wp/?p=213">http://shinanomachi-nagano.jp/jp/wp/?p=213</a></p>  |
| 長野県 | 白馬村              | 白馬ノルウェイビレッジ<専用サイト> | <p>「信州リゾートテレワーク」の推進に取り組む白馬村で、コワーキングスペースとして誰でも無料で利用できる施設を提供。冬はスキー&amp;スノーボード、グリーンシーズンには各種アクティビティが充実した白馬を拠点に「ワーケーション」としての利用をPR。</p>  <p>(写真) 白馬村ウェブサイト<br/> <a href="https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/shikikarasagasu/somuka/kikakuchoseigakari/2/2/3619.html">https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/shikikarasagasu/somuka/kikakuchoseigakari/2/2/3619.html</a></p> |
| 岐阜県 | 移住促進団体活動推進事業提案募集 |                    | <p>県内で活動する団体から移住定住の促進に資する事業の提案を募集し、効果が期待できるものについては県から当該団体に委託し、事業を実施する施策。移住定住の促進に資するテレワーク・ワーケーションに関する取組、移住者向けの継業（事業継承等）支援に関する取組などを優先テーマとして募集を実施。</p>   |
| 岐阜県 | サテライトオフィス誘致推進補助金 |                    | <p>新型コロナにより、人口が集中する都市部のオフィスから、感染リスクも低く居住環境も優れた地方のオフィスへと分散が進むことが期待されることから、県内へのサテライトオフィスの入居及び整備に係る経費を支援する「岐阜県サテライトオフィス誘致推進補助金」を創設。当補助金を活用し、長良川鉄道が「ワーケーション」施設を関駅（関市元重町）、美濃市駅（美濃市広岡町）、郡上八幡駅（郡上市八幡町城南町）の3駅の敷地に開設。ワーケーション支援事業を手掛ける「We' 11—Being（ウェル・ビーイング）JAPAN」（東京）のサテライトオフィスとして誘致。空いたスペースは、ウェル社がコワーキングスペースとして一般に貸し出す。</p>   |

|     |  |                          |  |
|-----|--|--------------------------|--|
|     |  |                          |  <p>(写真) PIXTA</p>   |
| 岐阜県 | <p>「ぎふの農村でワーケーション」モニターツアー事業 業務委託プロポーザル募集</p> |                          | <p>自然豊かな農村地域の地域資源を活用した岐阜県ならではのワーケーションを推進するため、モデルプランの企画、モニターツアー等を実施することで、受入体制等の整備を図るとともに、農村地域の新しいビジネスの創出や交流・関係人口の拡大による農村地域の活性化につながる企画提案を募集。</p>  <p>(写真) PIXTA</p> |
| 岐阜県 | 飛騨市  | <p>飛騨市まるごとお宿で安心テレワーク</p> | <p>宿泊事業者に対する緊急経済支援とテレワーク・分散勤務の推進を図るため、『飛騨市まるごとお宿で安心テレワーク』を2021年2月8日から開始。飛騨市内35の宿泊施設の各部屋を無償で利用可能。利用者は環境を変えて働くことで生産性の向上を図り、宿泊施設は昨今注目されるワーケーションへの対応に向けた課題に取り組む、緊急経済支援とニューノーマル時代への対応の両立を目指す取組。</p>   |

|     |     |                             |  |
|-----|-----|-----------------------------|--|
|     |     |                             |  <p>(写真) PIXTA</p>   |
| 岐阜県 | 岐阜市 | 岐阜市リモートオフィス (Neo work-Gifu) | <p>JR 岐阜駅に隣接した岐阜イーストライジング 24 に開設した「Neo work-Gifu」は、オフィス（個室）、シェアオフィス（固定席）及びコワーキングスペース（自由席）という、様々なオフィス形態を用意。新たなオフィス需要を開拓し、多様な働き方のモデルを提示。（当事業は、3年程度、実証事業として実施予定）</p>  <p>(写真) 岐阜市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.gifu.lg.jp/business/saogyoushinkou/1005748.html">https://www.city.gifu.lg.jp/business/saogyoushinkou/1005748.html</a></p> |
| 岐阜県 | 高山市 | Corritrip&WORK 奥飛騨 萬葉館      | <p>奥飛騨温泉郷福地温泉にオープンした、築 200 年の古民家をリノベーションしたコワーキングスペース。Wi-Fi やプリンター、Web 会議設備など、快適に仕事ができる環境が整えられており、温泉地にしながらテレワークが可能。中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化のため、岐阜県や高山市の他、商工会議所、観光協議会など地元組織からなる「岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会」としての取組。</p>  |


|     |                          |                                    |   |
|-----|--------------------------|------------------------------------|---|
|     |                          |                                    |  <p>(写真) 奥飛騨 萬葉館ウェブサイト<br/> <a href="https://banbakan.jp/work/">https://banbakan.jp/work/</a></p>   |
| 静岡県 | 静岡県・東急・伊豆急によるワーケーション取組連携 |                                    | <p>静岡県東京事務所、伊豆急行株式会社、東急株式会社の三者は、関係人口の増加による地域活性化や産業振興を目指し、地域課題解決型の「企業研修誘致による地方創生の推進に関する連携協定」を締結。地域が抱える社会課題や産業振興を、企業の人材育成研修や社会実装R&amp;D/事業開発を通じて解決するプラットフォーム事業を協働で実施。</p>   |
| 静岡県 | 静岡市                      | ワーケーション体験キャンペーン                    | <p>ワーケーション利用を促進するため、実質自己負担なしの体験キャンペーンを実施。企業向けには市内シェアオフィス利用料1か月分の他、宿泊費、交通費を助成。個人向けには、指定のシェアオフィス・コワーキングスペースの利用料（1回あたり4,000円まで）、宿泊費（1泊あたり8,500円まで）、静岡までの旅費（12,000円※新幹線または高速バスまで）に加え、ワーケーション体験料として1万円を補助。</p>  <p>(写真) 静岡市 静岡生活ウェブサイト<br/> (静岡市役所企画局企画課)<br/> <a href="https://shizuoka-seikatsu.jp/information/1520/">https://shizuoka-seikatsu.jp/information/1520/</a></p> |
| 静岡県 | 下田市                      | 2019年10月10日ワーケーションサミット<br>2019in伊豆 | <p>全国的にワーケーションが広まる中、ワークスポットとして伊豆を選択してもらうために、受入環境の整備促進と対外的な情報発信、関係者とのネットワークづくりを目的に企業や伊豆半島の市町村、NPO団体等とサミットを開催。</p>  |



|     |     |                     |  |
|-----|-----|---------------------|--|
|     |     |                     |  <p>(写真) 下田市 下田 de ワークケーション！ウェブサイト<br/> <a href="https://shimoda-de-workation.com/event/workation-summit-2019-in-izu/">https://shimoda-de-workation.com/event/workation-summit-2019-in-izu/</a></p>  |
| 静岡県 | 下田市 | 空き家等の利活用でワークケーション推進 | <p>「ワーク・ライフバランスが自慢の下田」を目指し、長期滞在を受け入れる快適な生活環境＋リーズナブルな宿泊環境＋非日常を味わえる観光環境を目的に株式会社LIFULLと空き家等の利活用を通じた地域活性化連携協定を締結。</p>  <p>(写真) 下田市ウェブサイト<br/> <a href="https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/category/090100workation/147115.html">https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/category/090100workation/147115.html</a></p> |
| 静岡県 | 下田市 | まちなかワークスポット         | <p>ワークケーション来訪者がまちなかで気軽に「仕事」ができる場所として、新たに【下田市民文化会館】【道の駅開国下田みなと】の2か所に公設の『まちなかワークスポット』を開設。無料で利用可能。（事前申込要）</p>  <p>(写真) 下田市ウェブサイト</p>  |

|     |                                       |   |
|-----|---------------------------------------|---|
|     |                                       | <p><a href="https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/category/090100workation/148236.html">https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/category/090100workation/148236.html</a></p>  |
| 三重県 | ワーケーション誘致の本格始動に向けた「デジタル社会推進局」の立ち上げ    | <p>2021年4月に知事直轄部局として「デジタル社会推進局」を立ち上げ、民間から「最高デジタル責任者」を迎えた。伊勢神宮の式年遷宮の考え方で、新しい発想や生まれ変わりを意味する「常若（とこわか）」をキーワードにワーケーション推進に向けた取組を実施。ワーケーションの課題は多岐にわたることから、プロジェクトは県9部局17課の横断的な取組として進められている。</p>  <p>(写真) 三重県ウェブサイト<br/> <a href="https://www.pref.mie.lg.jp/D1DIGITAL/index.htm">https://www.pref.mie.lg.jp/D1DIGITAL/index.htm</a></p> |
| 三重県 | ワーケーションポータルサイト「とこワク」                  | <p>三重県のワーケーション推進の一環としてポータルサイトをオープン。モデルプラン、宿泊施設、ワークスペースなどを提供する県内事業者とワーケーションに関心のある企業や個人とをマッチングする。</p>  <p>(写真) とこワクウェブサイト (三重県ウェブサイト)<br/> <a href="https://workation.pref.mie.lg.jp/tokowaku">https://workation.pref.mie.lg.jp/tokowaku</a></p>  |
| 三重県 | 【イベント】首都圏企業・ワーカー必見！企業視点でワーケーションを語りつくす | <p>観光視点で語られがちなワーケーションだが、南北に長く地域ごとに特色がある三重県では、イノベーションにもつながるような関係人口の増加をめざし、ワーケーション推進プロジェクトを始動。三重県におけるワーケーションを、企業視点で語りつくすオンラインイベントを開催。</p>   |



|     |   |                     |   |
|-----|---|---------------------|---|
|     |   |                     |  <p>三重県主催<br/>企業視点で \ 無料オンラインイベント /<br/>ワーケーションを語りつくす<br/>3月16日 火 19時~21時<br/>常夏の国、三重で<br/>クリエイティブに働こう</p> <p>モデレーター<br/>田中圭一氏<br/>株式会社スパイスアップ、<br/>ジャパン代表取締役</p> <p>東野アツシ氏<br/>株式会社EEO<br/>代表取締役CEO</p> <p>宇野一氏<br/>株式会社大島屋<br/>サイバーセキュリティ、<br/>情報化推進官</p> <p>藤村真由氏<br/>日本航空株式会社<br/>人財本部 人材戦略部<br/>情報化推進官</p> <p>三重県知事<br/>鈴木英敬</p> <p>(写真) 三重県ウェブサイト<br/><a href="https://www.mieterrace.pref.mie.lg.jp/sp/content/event.php?no=20210227135216">https://www.mieterrace.pref.mie.lg.jp/sp/content/event.php?no=20210227135216</a></p> |
| 三重県 | 三重県と JAL、地域活性化の推進に向けた連携を強化 ～新たに「次世代モビリティ」と「ワーケーション推進」に取り組みます～ |                     | <p>三重県と日本航空株式会社は、2015年に締結した「三重県と日本航空株式会社との「食」と「観光」に関する協定」に、「次世代モビリティ」と「ワーケーション推進」に関する項目を追加した連携協定を締結（2021年4月）。新たな分野でのさらなる緊密な相互連携を行い、幅広い分野での様々な取り組みに挑戦する。</p>  <p>三重県と日本航空株式会社との連携協定<br/>締結式</p> <p>(写真) 三重県ウェブサイト<br/><a href="https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m034540002.htm">https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m034540002.htm</a></p>   |
| 三重県 | 伊勢市   | クリエイターズ・ワーケーション促進事業 | <p>新型コロナによる市内観光への甚大な影響に対応する事業の一つとして、観光消費の拡大と観光PR、さらには「ワーケーション（ワーク＋バケーション）」という新しい旅のかたちの模索を目的に、伊勢市外在住の文化・芸術分野のプロのクリエイター100名程度を公募のうえ招聘し、市内宿泊施設で6泊～13泊の宿泊をしながら、それぞれに創作活動に取り組む機会を提供。参加したクリエイターと連携し、様々な文化・芸術イベントを開催。</p>  |

|     |     |                             |  |
|-----|-----|-----------------------------|--|
|     |     |                             | <p><b>Ise City Creators Exhibition 2022</b><br/>伊勢市クリエイターズエキシビション 2022</p> <p>creators<br/>井原 宏壽<br/>金子 未弥<br/>松尾 たいこ<br/>RYORYO</p>  <p>2022年<br/>11月19日(土)<br/>-12月18日(日)<br/>9:30-17:00</p> <p>会場<br/>伊勢市立美術館</p> <p>主催<br/>伊勢市</p> <p>協賛<br/>伊勢市立美術館</p> <p>後援<br/>伊勢市</p> <p>(写真) 伊勢市ウェブサイト<br/><a href="https://www.city.ise.mie.jp/cul_spo_edu/culture/gyouji/1014303/index.html">https://www.city.ise.mie.jp/cul_spo_edu/culture/gyouji/1014303/index.html</a></p> |
| 三重県 | 志摩市 | ワーケーションモデル確立へ向け、志摩市が日本航空と連携 | <p>志摩市と日本航空は、2021年3月に相互連携強化と地域活性化に向けた連携協定を締結。4月1日付で同社の出向社員一人を受け入れ、関係人口創出やワーケーション需要の受け皿としての商品化を目指す。県内市町との協定は初。</p>  <p>(写真) 志摩市ウェブサイト<br/><a href="https://www.city.shima.mie.jp/shisei/gyoseikaikaku_keikaku/kyoutei/1616578712163.html">https://www.city.shima.mie.jp/shisei/gyoseikaikaku_keikaku/kyoutei/1616578712163.html</a></p>   |
| 三重県 | 鳥羽市 | とぼる                         | <p>鳥羽でのワーケーションについて、市の魅力や施設を紹介する総合情報サイト。</p>  <p>(写真) とぼるウェブサイト (鳥羽市企画財政課)<br/><a href="https://tobaru-life.jp/">https://tobaru-life.jp/</a></p>  |

|     |               |                       |  |
|-----|---------------|-----------------------|--|
| 滋賀県 | ワーケーション導入事業実施 |                       | <p>滋賀県の「大都市に隣接」、「豊かな自然景観や文化財」、「適度な疎」という優位性を生かして、ワーケーション推進に向けた取組を実施。①宿泊事業者の平日を始めとした稼働率向上、②利用者（企業）の働き方改革やCSR、SDGs等の企業価値向上、③琵琶湖や森林の保全活動等の地域活動への参加者確保の「観光三方よし」の実現を目指しモニターツアーを開催。</p>  <p>(写真) 滋賀県ウェブサイト<br/> <a href="https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5212833.pdf">https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5212833.pdf</a></p> |
| 滋賀県 | 高島市           | おためし地方暮らし             | <p>JR 西日本と沿線自治体の共同プロジェクト。京都・大阪・神戸市内への通勤者と家族に向け、通勤支援の鉄道サブスクサービス、住まいの提供（滞在金支援）、モバイルルーターやレンタカー特別プラン等の支援を実施。滋賀県高島市エリアを提供。</p>  <p>(写真) PIXTA</p>   |
| 滋賀県 | 高島市           | ワーケーション等サービス環境整備支援補助金 | <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う多様な働き方の普及に対応するため、地域資源を活用したワーケーション、オフサイトミーティング、コワーキングスペースまたはサテライトオフィス等による来訪者を誘致するため、これらの事業に必要な環境整備を図るための補助金制度を創設。補助率：2分の1以内、補助限度額：50万円／1事業者。</p>   |

#### ④ワーケーションのメリットと課題

各地域においてワーケーションを導入することによるメリットと課題は以下のよう整理される。

##### ■メリット

- ・ 宿泊施設、飲食施設の利用が促進され、地域の消費拡大・経済波及効果につながる。
- ・ 交流人口や関係人口の拡大、新たなコラボレーション・イノベーションの創出につながる。
- ・ 地域内外の人の交流が生み出されるきっかけとなる。
- ・ リピーターとして観光旅行で訪れるきっかけとなる。

##### ■課題

- ・ 各地でワーケーションの取組が活発化する中で、差異化を図り、選ばれる地域を目指す必要がある。
- ・ 企業・団体の利用を促すためには、研修ニーズの取り込みが有効であるが、研修場所や宿泊施設の確保に加え、企業が求める研修プログラムの作成も必要となる。
- ・ ワーケーションの利用者は滞在期間や利用頻度がさまざまであるため、それに対応した補助金制度ができるとうい。
- ・ ワーケーション利用促進の前提として、まずはテレワーク環境を整備する必要がある。

## 4) ユニークベニユースの動向

### ①ユニークベニユース活用の現状

MICEにおいて、参加者の満足度を向上させる上で、ウェルカムレセプションやフェアウェルガラディナーなどで特別な時間・空間を演出するユニークベニユース<sup>\*</sup>の活用が効果的と考えられる。

<sup>\*</sup>「ユニークベニユース (Unique Venue:特別な場所)」とは、「博物館・美術館」、「歴史的建造物」、「神社仏閣」、「城郭」、「屋外空間 (庭園・公園、商店街、公道等)」等で会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場を指す。

ヒアリング調査において、ユニークベニユースで特別感を味わいたいという需要は多いとのコメントも聞かれたことから、MICE 来訪者の誘致推進策を検討する上で、本県におけるユニークベニユースの事例を調査した。

### ②愛知県内におけるユニークベニユース施設

#### ■あいち航空ミュージアムの事例

- ・ 県営名古屋空港に設置されているあいち航空ミュージアムは、2019年12月に、設置根拠である愛知県名古屋飛行場条例が改正され、貸切（専用）利用が可能となっている。
- ・ 従来、ミュージアム内での会議・イベント等は、航空メッセプラザと呼ばれる多目的催事室でのみ開催可能だったが、貸切（専用）制度の導入により、展示ゾーンを含めたミュージアム全体で、催事が実施出来るようになった。また、仕出し等のサービスも開始され、展示されている航空機の下でのレセプションや、大人数での講演・研修等が可能となった。映画やテレビの撮影場所としても活用可能（ただし、条例の設置目的に資する利用に限る）。
- ・ コロナ感染症拡大前には、およそ1,500人規模の貸切（専用）利用があった。
- ・ 所在する周辺地域には、大規模催事が可能な施設が少なく、今後利用の増加が期待される。

## 貸切（専用）利用について

迫力ある実物展示をはじめ、大画面スクリーンと動く座席により愛知県周辺の自然や都会の上空を飛ぶ仮想体験ができる「フライングボックス」、YS-11 シミュレーターを実際に操縦できる「パイロット体験」などの人気コンテンツを、通常開館時と同様に貸切にてご利用になれます。

ご要望に応じて、普段は公開していない MU-300 の機体内部の特別公開など、様々なアレンジも可能です。

研修・会議の利用や、映画やテレビの撮影場所など、開放的な空間が特徴の当ミュージアムを貸切でお楽しみください。

## 利用料金

| 利用日区分             | 単位                                      | 利用料       |              |
|-------------------|---|-----------|--------------|
|                   |   | 基本料金      | 観覧料          |
| 開館日の閉館後           | 閉館後の 3 時間<br>(17 時 30 分～20 時 30 分)      | 402,300 円 | 入館料相当額の合計額 ※ |
| 定期休館日<br>(火曜日)    | 9 時 30 分～22 時までの間<br>のうち 3 時間           | 402,300 円 | 入館料相当額の合計額 ※ |
| 開館日（平日）の<br>営業時間内 | 土曜日、日曜日及び休日<br>を除く終日<br>(9 時 30 分～17 時) | 502,500 円 | 入館料相当額の合計額 ※ |

※入館料相当額とは、団体（20 名以上）の入館料（一般 800 円、大学生または高校生 640 円、中学生または小学生 400 円）ごとの人数に応じた額の合計額

【例】平日の閉館後 3 時間を 300 人（大人 200 人、小・中学生 100 人）で利用した場合

$$402,300 \text{ 円} + 800 \text{ 円} \times 200 \text{ 人} + 400 \text{ 円} \times 100 \text{ 人} = 602,300 \text{ 円}$$

- ・未就学児、障がい者等の観覧料は無料
- ・延長 30 分につき 67,000 円を加算
- ・税込料金

（出典）あいち航空ミュージアム ウェブサイト

イベント開催時の状況



(写真) 愛知県提供

■愛知県内のユニークベニュー施設事例

図表 愛知県におけるユニークベニュー施設（例）

| 施設名   | 分類  |
|---|---|
| <p data-bbox="199 349 496 387">名古屋城・本丸御殿</p>  <p data-bbox="220 974 416 1012">(写真) PIXTA</p>  <p data-bbox="220 1453 946 1491">(出典) 名古屋観光コンベンションビューロー提供</p> | <p data-bbox="1150 349 1347 387">歴史的建造物</p> |



トヨタ産業技術記念館

博物館・美術館



(出典) トヨタ産業技術記念館提供

リニア鉄道館



(写真) PIXTA

博物館・美術館

名古屋市美術館



(写真) PIXTA

博物館・美術館

ノリタケの森



(写真) PIXTA

歴史的建造物、  
公園

徳川美術館



(写真) PIXTA

博物館・美術館



(出典) 徳川美術館提供

名古屋能楽堂



(写真) PIXTA

能舞台

名古屋港水族館



(写真) PIXTA

水族館

八事山興正寺



(写真) PIXTA

寺社仏閣

熱田神宮（神宮会館）※庭園



(写真) PIXTA

庭園

白鳥庭園



(写真) PIXTA

庭園

ガーデンレストラン徳川園



(写真) PIXTA

庭園

中部電力 MIRAI TOWER



(写真) PIXTA

建造物

東山スカイタワー



(写真) PIXTA

建造物

大須演芸場

その他



(写真) PIXTA

(出典) 観光庁ウェブサイト

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/page07\\_000020.html#chubu](https://www.mlit.go.jp/kankocho/page07_000020.html#chubu)



### ③ユニークベニュー活用のメリットと課題

#### 【メリット】

- ・ホテルの宴会場とは異なる空間でレセプションを行うことにより、参加者に深い印象を与えることが可能で、開催場所の選定のための一つの要件となり得る。
- ・地域の関連事業者（設備、ケータリング等）に波及効果がある。
- ・参加者が観光客としてリピーターとなることが期待できる。
- ・遊休時間帯の利用による収益増加につながる。

#### 【課題】

- ・ほとんどの施設で夜間利用の制限があり（営業終了後の 17 時頃から 21 時まで等）、海外のディナー時間（20 時開始、全体で 2 時間半～3 時間）に適合していないため、選定候補に入らないことが多い。
- ・屋外施設を利用する場合は天候への配慮が必要となる。また常設の施設でない場合も十分な機能を有するトイレの設置等、一定程度のホスピタリティが必要となる。
- ・営業時間外の人員確保が必要。ユニークベニュー利用が本業ではないことから問合せへの対応が難しい。
- ・対象施設に外国語対応スタッフが少ない場合は、通訳が必要となる。
- ・大規模利用の場合、施設や駐車場のキャパシティが不足しがちである。
- ・各自治体の条例への対処（火気使用、景観配慮等）や、周辺地域との調整が必要となる（夜間照明、騒音、プライバシー保護など）。
- ・多くの施設では、直近にならないと予約ができないため、時間をかけて企画をするユニークベニューの施設として選定されづらい。
- ・行政ワンストップ窓口があれば、施設に伝手が無い団体にとっては一次照会先として活用できるが、実際の利用にあたっては行政組織では対応が困難である。企業の MICE となると、前日の夜中まで組み換え・変更対応が求められる。

（出典）ヒアリング調査結果等をもとに集約

こうした内容を踏まえ、ユニークベニューの活用を進めていくためには、行政の補助を得ながら、以下に示す取組等を進めていくことが効果的であると考えられる。

- ・ユニークベニューを利用する主催者等への付帯施設・機能（トイレ、電源等）の準備に掛かる助成
- ・ユニークベニュー施設への受入環境整備費（備品購入費等）の助成
- ・ユニークベニュー利用時の外国語対応サポートや施設スタッフへの外国語学習支援（講習の実施等）
- ・PCO<sup>\*</sup>・主催者からの問い合わせに対し、ワンストップで対応できるようにするための事業者との緊密な連携と知見のストック

\*PCOとは「Professional Congress Organizer」の略称であり、国際会議や展示会等の各種イベントを主催する企業・団体と連携し、事前準備や当日の運営サポートを総合的に行う事業者をいう。

### (3) インセンティブ旅行の動向

インセンティブ旅行は、その特性から、企業内で影響力が大きい人が対象になるため、消費単価も高額になることや、家族や知人・友人を連れてのリポートにつながることも多く、地域の観光経済への影響が大きい。

インセンティブ旅行は、主催する側の要望により様々なプログラムが計画されるが、一般的な観光だけでなく、新製品発表・体験会、方針説明会、会社役員との会議、工場見学、研修など、ビジネスの要素が盛り込まれるケースが多い。

以下にインセンティブ旅行の動向について整理する。

#### 1) インセンティブ旅行に関する世界の動向

##### ■ インセンティブ旅行を取り扱う旅行会社へのヒアリングによる海外の動向

- ・訪問先について、「Adventure Destination」と「Cultural Destination」の考え方があり。日本は「Cultural Destination」、つまり文化を売りにしている訪問先として捉えられている。（「Adventure Destination」の例としてはニュージーランドがあり、自然を売りにするもの）
- ・海外企業はインセンティブに対する予算を予め組み込んでいるため、提供側は本物志向など、それに見合う内容を提供しなければならない。
- ・顧客となる企業は多くの資金を出し、DMC(Destination Management Company)やCVB(Convention & Visitors Bureau)、現地の人たちと綿密に練った特別なプログラムを提供している。そうすることで、社員や販売店に驚きや感動を与え、体験した人が自国に戻り、インセンティブ旅行の魅力や体験を周りに話すことで、全体のモチベーションを上げることに資すると考えている。
- ・ロングホール（10時間以上の長距離フライト）で来訪する場合は、滞在期間は概ね1週間程度、都市は2都市を回るケースが多い（東京と京都、名古屋と京都、名古屋と大阪等）。
- ・アジアから来訪する場合、3～4日間、かつ1都市のみの滞在が多い。
- ・新幹線は人気コンテンツの1つである。
- ・行き先を細かく決めるのではなく、東京や京都など拠点を決め、その周辺を周遊する。
- ・海外の参加者はネットワーキング（参加者間の交流）を好む。ウェルカムレセプション、もしくはフェアウェルガラディナー（送別の際の特別なディナー）のベニュー（開催地、会場）の有無が都市選定の基準になるケースも多い。

（出典）旅行会社へのヒアリング結果

## 2) 日本のインセンティブ旅行受入対応の動向

JNTO は、日本が豊富に有するインセンティブ旅行の素材を集めた事例集を取りまとめた。アウトドア、自然体験に加え、チームビルディング、サステナビリティを意識したシティアドベンチャー、テクニカルビジットの事例を紹介し、インセンティブ旅行の選択の際に活用してもらえるツールとして公開している。

図表 インセンティブ旅行の事例集



図表 インセンティブ旅行の事例集

**コンテンツ一覧**

- 1 大倉山ヤング健将団
- HOKKAIDO ICE STAR PROJECT
- CRUISE KITCHEN
- ルズリソート遊園地貸切プラン
- 伊達スベタクル
- 江戸ワンダーランド日光江戸村
- まえばしユニークベニュー in 藤江
- 町ごとステイ in 出雲
- SAMURAI TRIP
- 「道」ご新巻体験
- 真切の神社で体験する神道の儀式
- サステナビリティとウェルネスの要素を取り入れたミーティング体験
- アングラスやウイングコーンが楽しめる豪華ラグジュアリー
- Sail a ship Challenge!!!
- Walk'n Ride Rally in YOKOHAMA

日本には、皆様に安心して楽しんでいただけるインセンティブ旅行の素材が豊富にあります。山や海のリゾートを活かしたアウトドア、自然体験、チームビルディング、サステナビリティを意識したシティアドベンチャー、世界をリードするテクノロジーを垣間見るテクニカルビジット、ラグジュアリーな滞在を兼ねるホテルや日本旅館。全国からそのようなコンテンツを取り揃えました。ここにあるのはほんの一部ですが皆様の企画に彩を添えるものとしてご利用いただけると嬉しいです。

**ISLAND MIRRORGE**

- 五葉山企業遊り風景宿泊体験
- 高麗の伝統工芸体験
- レストランかまら村
- 「氷上のチェス」カーリング体験
- Hamamatsu and Lake Hamana
- Ono, Dinner Tea Pairing
- 地引網体験+ビーチクリーン活動
- 白鷺 舞養生
- 温泉・岩倉体験パック
- 海女小唄体験施設ととうみ庵

**カテゴリ区分**

|      |         |       |           |
|------|---------|-------|-----------|
| 食事   | 自然      | 癒し    | 文化        |
| 都市   | 芸術      | アウトドア | チームビルディング |
| 宿泊施設 | アトラクション | 体験    |           |
| 春    | 夏       | 秋     | 冬         |

- 和らうそくによる法灯会
- 光と京の夜宴
- 舞臺山ハイイクと山上自然体験
- 自軒に影づく長春寺でのガラディナー
- 耳鳴り体験でのワークショップと万葉ジャズのカク
- 新潟野ガムンで農業体験とサイクリング
- 高麗の伝統工芸体験
- お好み焼体験スタジオ OKOSTA
- 寛政の城治と江戸内クルージング&アートツアー
- 四国道徳体験 in 松山
- 博多を眺めながらオープンエアー遊覧船 & シーサイドパーティー
- 舞の中道南原公園「道徳共生の森(みらいの森)」
- サンセットチャータークルーズ&ナイトミュージアム
- NAGASAKI WATER ISLAND
- ガンガラーの谷ライブパーティー
- サンゴを守り育てる植樹プログラム

(出典) JNTO ウェブサイト「インセンティブ旅行誘致のポイント」

<https://mice.jnto.go.jp/document/manual/downloads.html?fname=incentivetravel.pdf>

### 3) インセンティブ旅行のメリットと課題

海外にネットワークを有し、インセンティブ旅行のコーディネートを担う旅行会社からは、近年のインセンティブ旅行の動向を踏まえ、以下のようなメリットや課題が挙げられた。

#### 【メリット】

- ・インセンティブ旅行は、一般の観光とは異なるだけでなく、企業があらかじめ予算を組んで実施するものであるため、一般的に金額が多い。トップクラスの地位の方の来訪においては費用がかかることは厭わないという考え方である。
- ・一般の観光案件と比べると非常に手間はかかるが、企業で地位のある方が来るケースが多く、その方の口コミは地域にとって大きなPRになる。

#### 【課題】

- ・インセンティブは、企業にとってのメリットをいかに地域が提供できるかが重要。社員がその企業に属しているメリットを感じるようなプログラムを提供できるかがポイントとなる。
- ・地域は1都市で完結する場合と、複数（広域の地域連携）での取組が必要になる場合がある。
- ・対象地域に直行便があるかどうかは大きな要素。
- ・Wow factor（人を感動させる要素）が重要となる。
- ・愛知県だけを見るのではなく、例えば三重県の伊勢と連携するなど、他地域との連携も視野に検討すると良い。
- ・ものづくりをビジネスコンテンツにつなげることができれば、当地域ならではのプログラムを提案することができる。
- ・愛知県や名古屋の場合、文化体験よりビジネスコンテンツを売りにする方が、地域への流入を見込めるのではないか。
- ・インセンティブは企業のトップなど地位のある方の来訪が多いことを考えると、一般の観光とは異なる配慮が必要になってくる。駅での動線の確保等、臨機応変に対応してもらえると良い。
- ・インセンティブでは下見を必ず行う。下見そのものに対する補助金があれば、非常に大きなプラス要素となる。意思決定に関わる人達が見に来るため、大きなPRポイントになる。
- ・大型ホテルが必要となる（団体を受け入れられるホテルであれば、ブランドについては国内・海外は問わない。）

#### (4) ビジネス旅行における新型コロナウイルスの影響

- ・新型コロナウイルスに関する水際対策については、以下のような措置が取られている。

- ・現在の水際対策は、2022年10月11日以降、新型コロナウイルスへの感染が疑われる症状がある帰国者・入国者を除き、全ての帰国者・入国者について、原則として入国時検査を実施せず、入国後の自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中のフォローアップ、公共交通機関不使用等を求めないこととされている。
- ・一方で、2023年3月1日現在、中国（マカオ・香港を除く）からの直行便で入国される人については、ワクチン接種証明書の有無にかかわらず、出国前検査証明書が必要となっている。

(出典) 外務省ウェブサイト「国際的な人の往来再開に向けた措置について」

- ・また、新型コロナウイルスの感染法上の分類について、2023年5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることが発表されている。これにより、感染者への入院勧告や、感染者や濃厚接触者の外出制限等がなくなることになる。
- ・以上のように、現状では水際対策が緩和されつつあるが、今後、中国方面での水際対策も緩和され、新型コロナウイルスの感染法上の分類も5類に引き下げられていくと、ビジネスでの来訪者も増加していくことが見込まれる。
- ・また、新型コロナウイルスの状況に関連し、入国手続き「検疫」、「入国審査」、「税関申告」をウェブで行うことができる Visit Japan Web というサービスも行われるようになっている。このサービスは、海外から入国者のほか、日本への帰国者も利用することができる。(2023年3月1日現在)

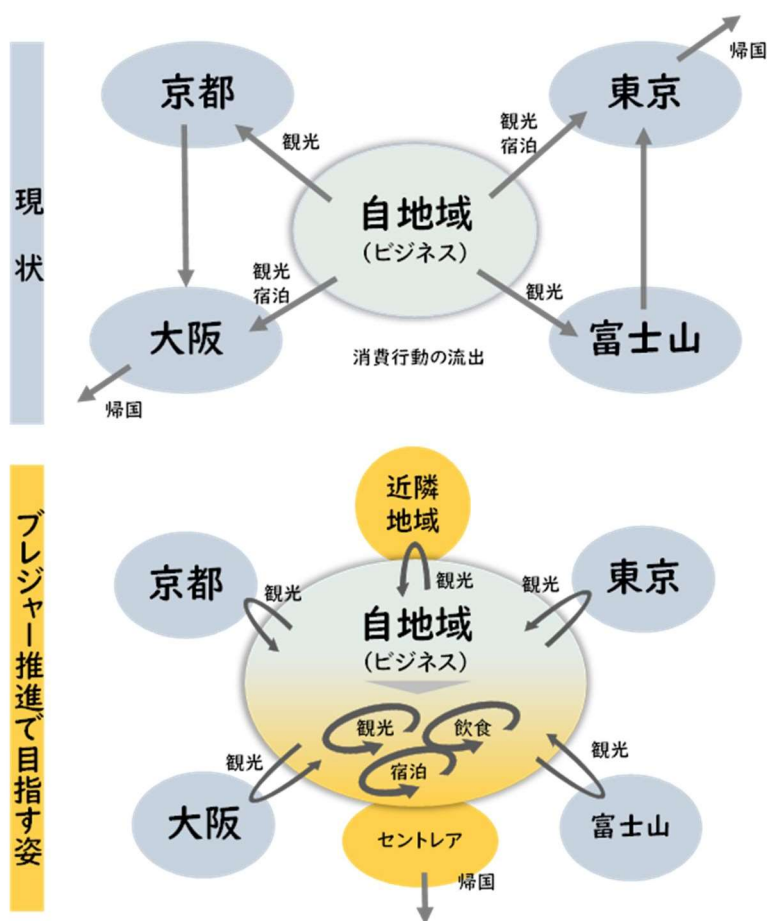


(出典) Visit Japan Web (デジタル庁)

## (5) 愛知県での滞在時間の拡充

- ・現状、愛知県へのビジネス目的での来訪者が、目的後にそのまま帰る、あるいは地域外に移動して観光している状況があるが、テクニカルビジット、ブレジャー、ワーケーションを戦略的に推進し、域内での観光を促すことで宿泊・飲食等の消費も活性化が見込まれる（地域外で観光しても戻って宿泊する等）。
- ・さらに、ビジネス目的の来訪者が当地域に少しでも滞在し、気に入って帰ってもらうことにより、いずれリピーターとして、観光客となり戻ってくることに期待し、当地域に滞在させる仕組みが必要となる。

図表 ブレジャーの今後のあり方



(出典) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社